



株式会社北川鉄工所

# 2025年度 決算説明会資料

2026年5月28日

株式会社北川鉄工所

証券コード:6317(東証スタンダード)

01

# 会社概要

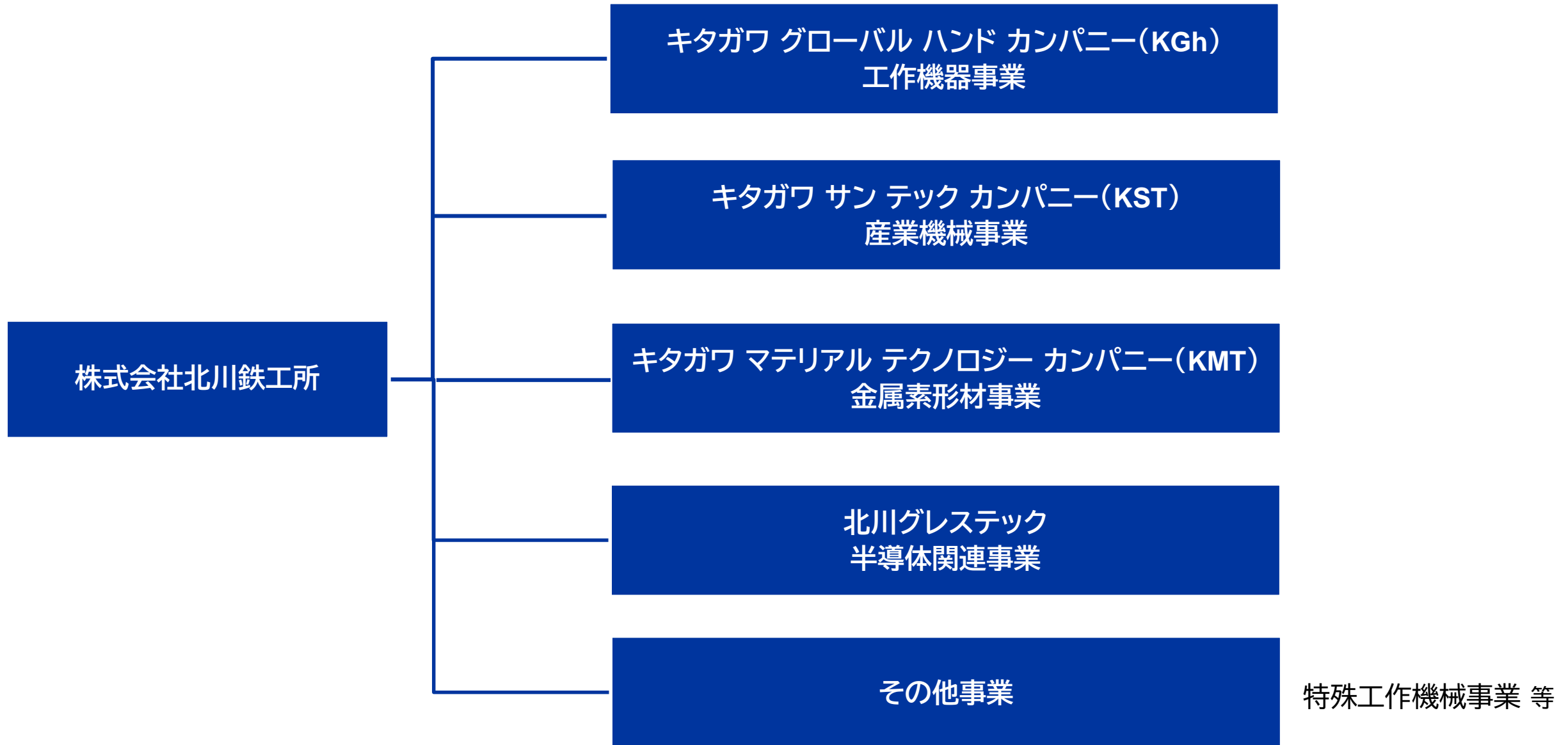
会社名	株式会社北川鉄工所
本社所在地	広島県府中市元町
代表者	代表取締役社長 岡野 帝男
創業	1918年3月
従業員数	グループ合計：2,221名 内単独：1,412名(2026年3月末)
事業規模	連結売上高：584億円(2025年度) 連結営業利益：26億円(2025年度)
事業内容	工作機器 半導体関連事業 産業機械 金属素形材
主要関係会社	KITAGAWA MEXICO,S.A. DE C.V. 北川グレステック株式会社

## 企業ビジョン

株式会社北川鉄工所は  
ものづくりという業にあって

お客様の喜びを我々の喜びとし、  
素直な心を尊び、勇気ある行動を敬い、  
自己実現の場として、自律した活力ある  
リーダーを育成し、  
技術を誇り、未知なる世界に挑戦する

**Quality Business** を実践する集団である。



その他 特殊工作機械事業等  
4億円(0.8%)

## 半導体関連事業

18億円



## 工作機器事業

KGhカンパニー

99億円



## 金属素形材事業

KMTカンパニー

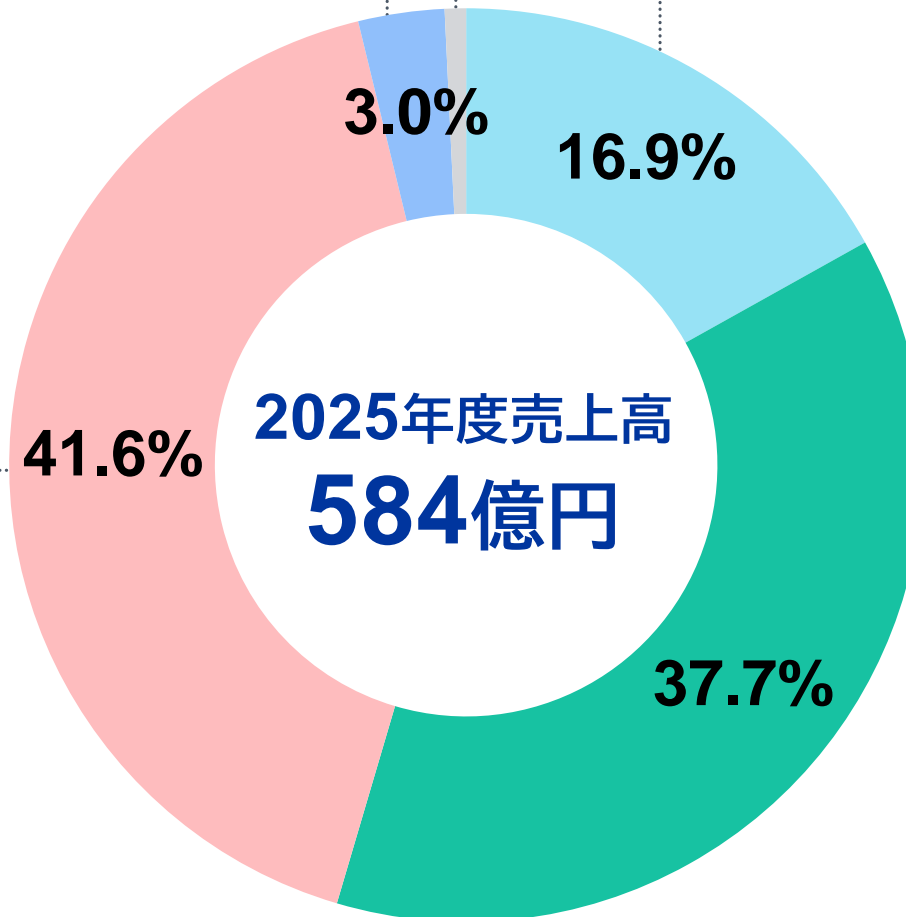
243億円



## 産業機械事業

KSTカンパニー

220億円



## 事業の概要

ワークホールディング(素材を固定する製品)の開発・製造・販売  
- 「つかむ、把握する」コア技術をベースとした製品を展開

## 事業の強み

- 品質に裏付けされた世界的なブランド力
- 全世界40ヶ国、60拠点以上の販売網

## 工作機械のコア部品製造

### ■ 旋盤用チャック



国内シェア**60%**

高精度・高耐久

主要国内メーカー機へ標準搭載

### ■ その他様々な工作機器を製造

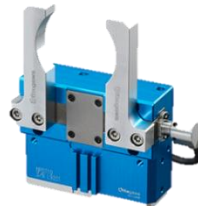
NC円テーブル



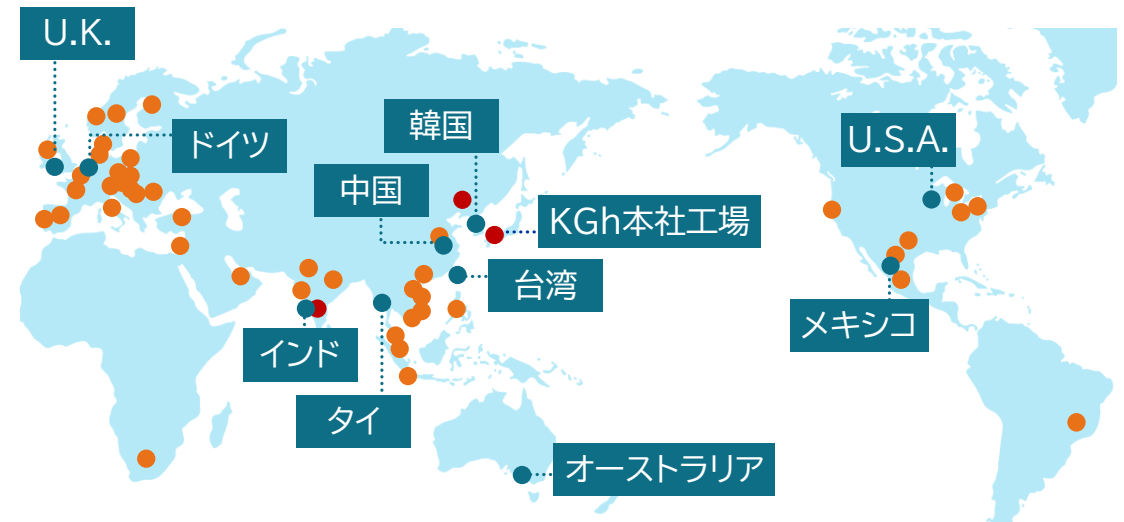
パワーバイス



ロボットハンド



## 世界に広がる販売網



● 海外代理店 ● 海外販売会社 ● 製造拠点

## 事業の概要

コンクリートプラント、建設機械、環境関連機器、立体駐車場の開発・製造・販売

- コア技術である「練り混ぜる」、「巻き取る」、「つり上げる」をベースとした製品を展開

## 事業の強み

- “高い練る技術”、“レイアウトの自由度”により生コンプラントシェアトップクラス
- 数々の建設機械の共同開発・高い品質により培われた大手ゼネコンとの強固な信頼関係
- 特許技術：駐車場内に柱の少ないスーパーロングスパン立駐
- ニーズに応える製品を生み出す開発力

## トップシェア商品群

### ■ コンクリートプラント

国内シェア**30%**



コンクリートミキサ  
ジクロスネオ



### ■ 建設用クレーン ビルマン

国内シェア**60%**



### ■ 立体駐車場

国内シェア**20%**  
(アウトレットモール用**40%**)



## 事業の概要

- 金属素材・鋳造技術の開発、鋳造品の製造・販売
  - 素材製造+加工の**一貫体制**で製品を供給
  - **国内外に生産拠点**(広島、埼玉、メキシコ)
- 大手自動車メーカー、建機・農機メーカーに納入

## 事業の強み

- 硬度、形状など高難易度の部品を量産できる**技術力**
- 高度な**品質管理**、安定した**供給能力**
- 特定のメーカーに属していない**独立系メーカー**であり  
様々なメーカーに製品供給可能

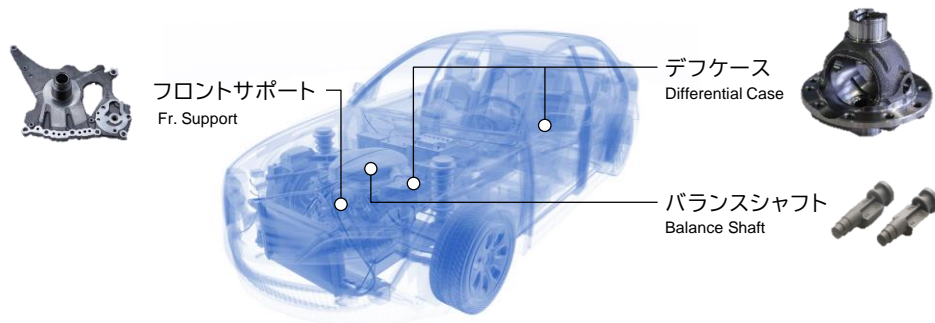
## 様々な鋳物部品の製造が可能

### ■ 売上構成

自動車部品(デフケース・ミッション部品) **52%**  
 建機・農機部品(足回り部品・エンジン部品) **48%**

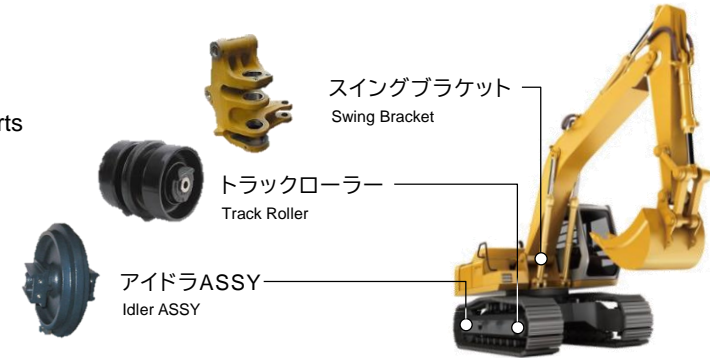
### ■ 自動車部品 Auto Parts

世界で生産される自動車の  
**15台に1台はkitagawaの部品を搭載**



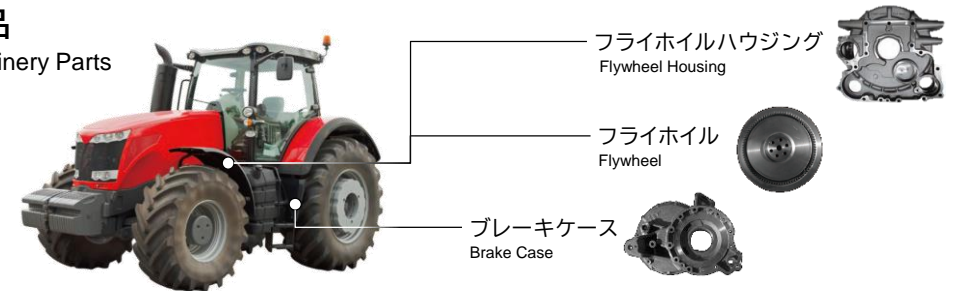
### ■ 建設機械部品

Construction Machinery Parts



### ■ 農業機械部品

Agricultural Machinery Parts



## 事業の概要

- **2023年 M&Aにより半導体関連事業へ進出**  
2023年7月 ケメットジャパン(株)及びシステム精工(株)の株式を100%取得  
2024年4月 2社を合併し北川グレステック(株)設立
- **半導体およびHDD向け製造装置・研磨消耗品の製造・販売**

## 事業の強み

- 世界初のHDD**自動**研磨装置開発に成功した**技術とノウハウ**  
⇒削る・磨く・運ぶ・洗う・見る 各工程において**世界レベルの技術力**  
⇒**自動化、省人化ライン**等を**オーダーメイド**で提供可能

## 世界に通用する技術力

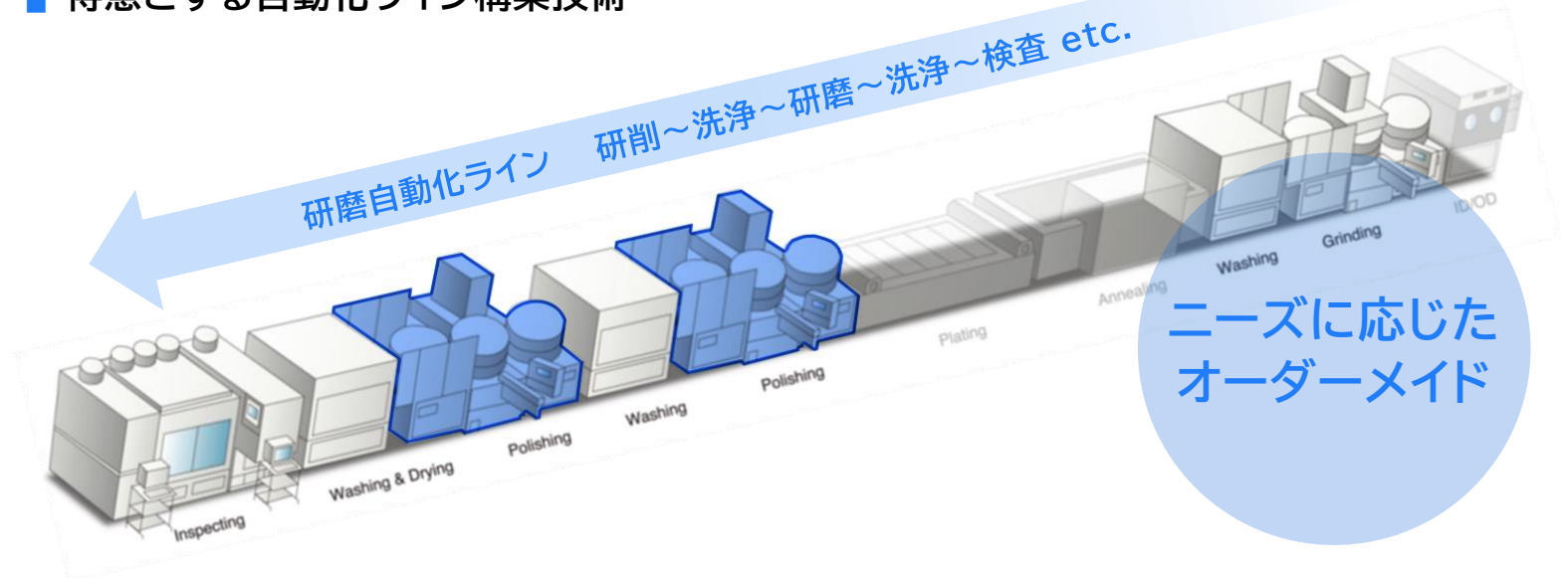
### ■ HDD用磁気ディスクの自動研磨装置



世界シェア **80%**

世界初の自動化

### ■ 得意とする自動化ライン構築技術



ニーズに応じた  
オーダーメイド

02

# 2025年度 決算報告

- 売上高は、産業機械事業の増収を主因に前期比**11.3億円増の584億円**
- 営業利益は、産業機械事業及び金属素形材事業の収益性改善を主因に前期比**8.1億円増の26.8億円**
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、国内外の固定資産売却益計上により前期比**18.8億円増の31.2億円**

(百万円)

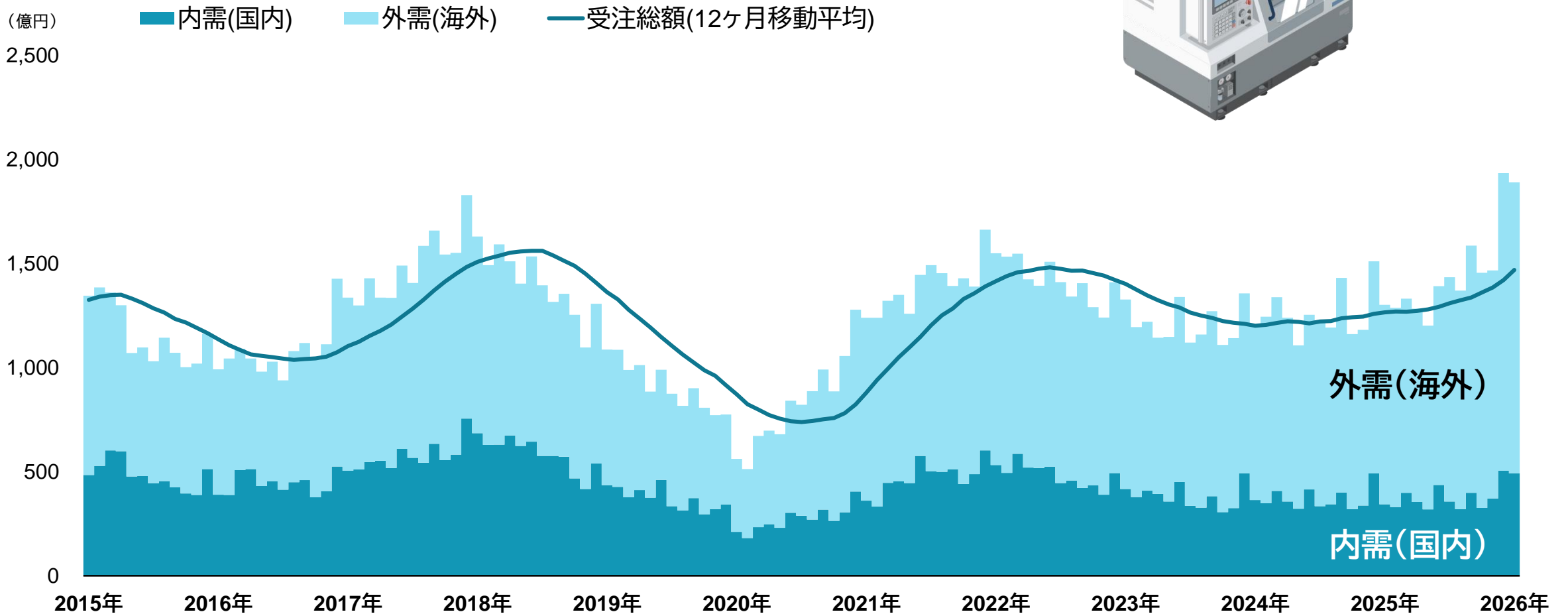
	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	57,280	<b>58,415</b>	1,135	2.0%
営業利益	1,872	<b>2,688</b>	816	43.6%
営業利益率(%)	3.3	<b>4.6</b>	1.3pt	—
経常利益	2,315	<b>2,545</b>	230	9.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,246	<b>3,128</b>	1,882	150.9%

# セグメント別業績

(百万円)

セグメント		2024年度	2025年度	前期比	増減率
工作機器事業 (KGh)	売上高	9,031	<b>9,870</b>	839	9.3%
	営業利益	427	<b>221</b>	△206	△48.3%
産業機械事業 (KST)	売上高	20,004	<b>22,003</b>	1,999	10.0%
	営業利益	1,668	<b>2,806</b>	1,138	68.2%
金属素形材事業 (KMT)	売上高	24,725	<b>24,319</b>	△406	△1.6%
	営業利益	△128	<b>606</b>	734	—
半導体関連事業 (KGT)	売上高	2,512	<b>1,780</b>	△732	△29.1%
	営業利益	586	<b>138</b>	△448	△76.3%
その他事業	売上高	1,005	<b>440</b>	△565	△56.2%
	営業利益	0	<b>△42</b>	△42	—
共通費用	営業利益	△681	<b>△1,041</b>	△360	—
合計	売上高	57,280	<b>58,415</b>	1,135	2.0%
	営業利益	1,872	<b>2,688</b>	816	43.6%

## ■ 工作機械受注推移



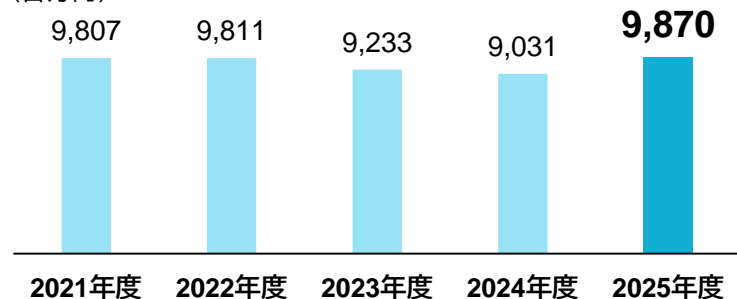
資料：日本工作機械工業会 工作機械受注統計より引用

(百万円)

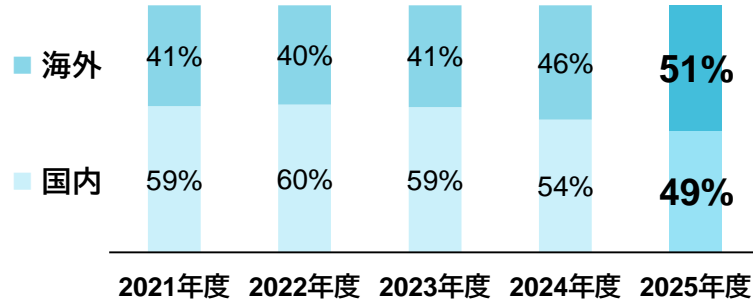
	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	9,031	9,870	839	9.3%
営業利益	427	221	△206	△48.3%
利益率(%)	4.7	2.2	△2.5pt	—

## 売上高推移

(百万円)

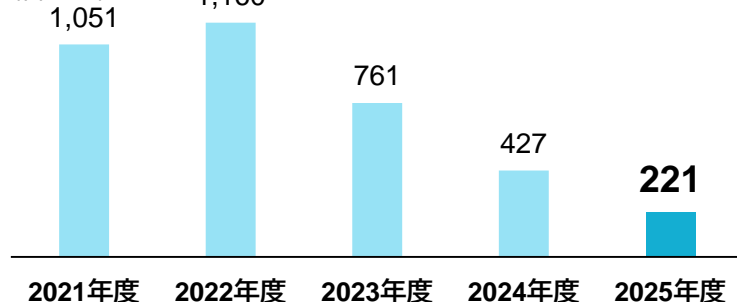


## 国内・海外売上比率推移

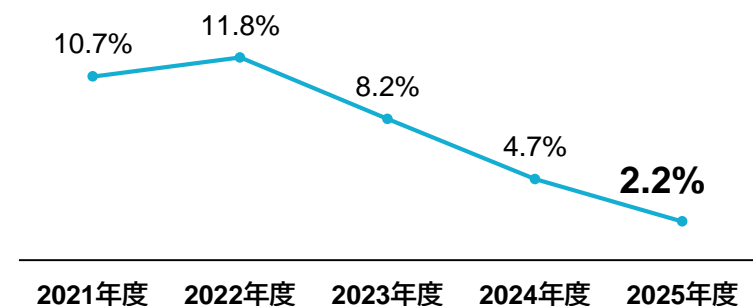


## 営業利益推移

(百万円)



## 営業利益率推移



### 日本国内

増収(売上高前期比+0.1%)

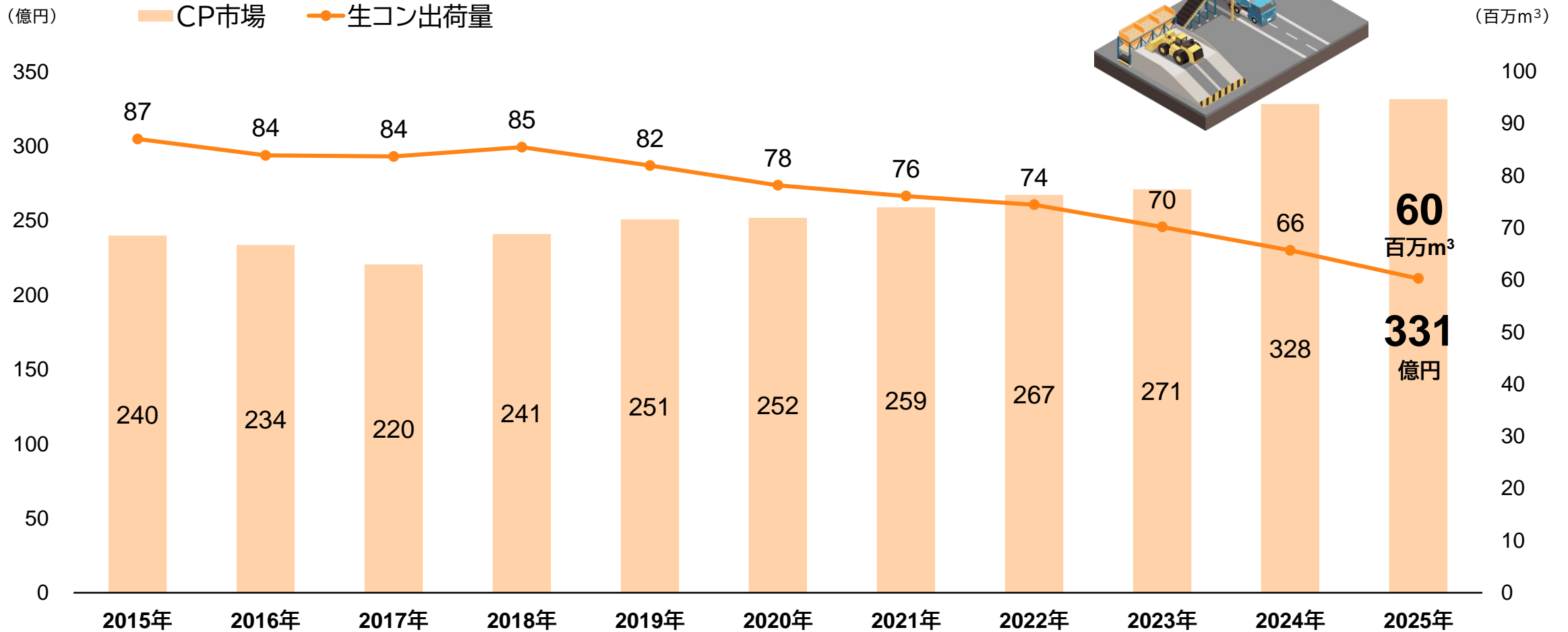
- 自動車産業減速によりデザインチャック販売が伸び悩み、前期並みの売上で着地

### 海外

増収(売上高前期比+20.0%)

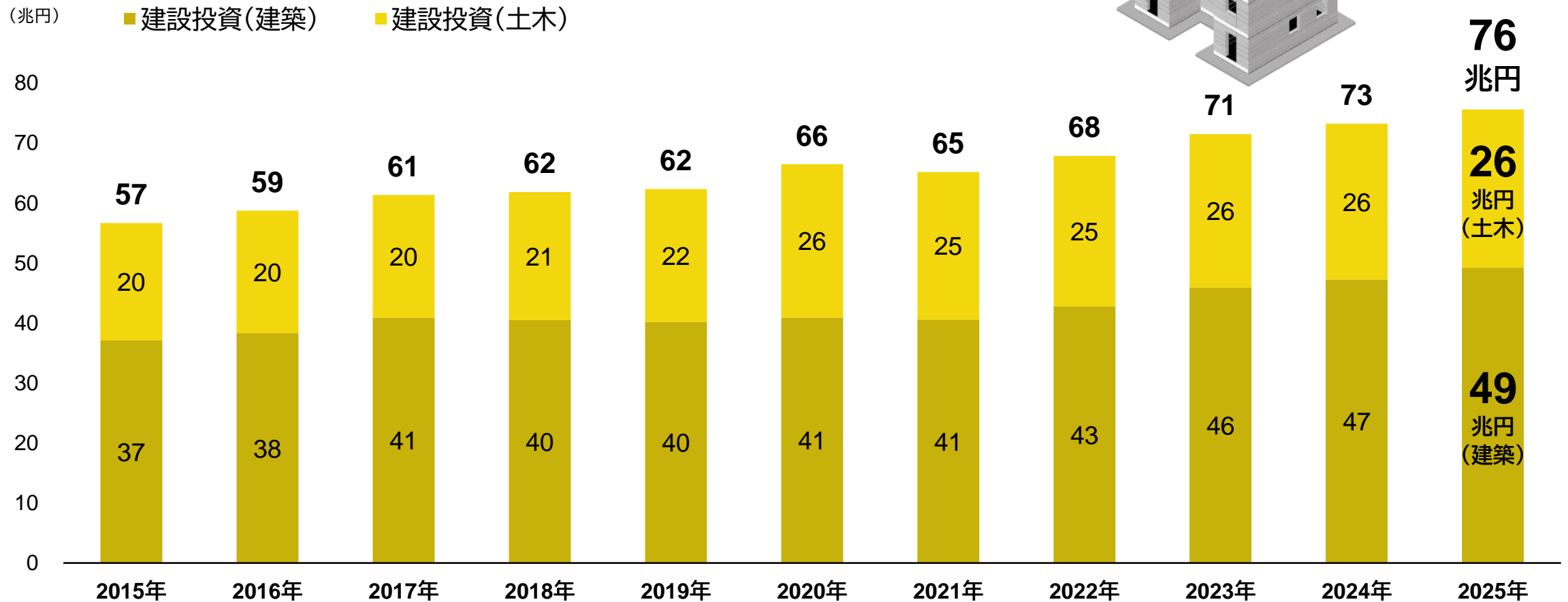
- インド、中国向けの受注増加などにより増収

## ■ 全国生コン出荷量・CP販売高推移



資料：全国生コン工業組合連合会、建設機械工業会

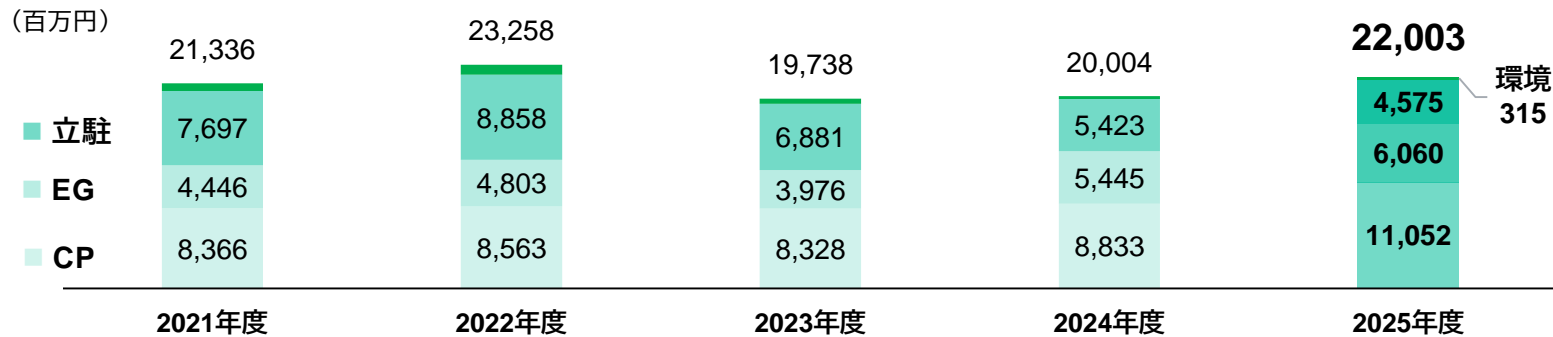
## ■ 全国建設投資推移



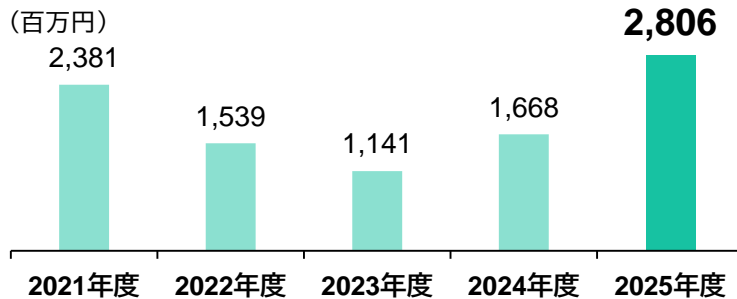
(百万円)

	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	20,004	<b>22,003</b>	1,999	10.0%
営業利益	1,668	<b>2,806</b>	1,138	68.2%
利益率(%)	8.3	<b>12.8</b>	4.5pt	—

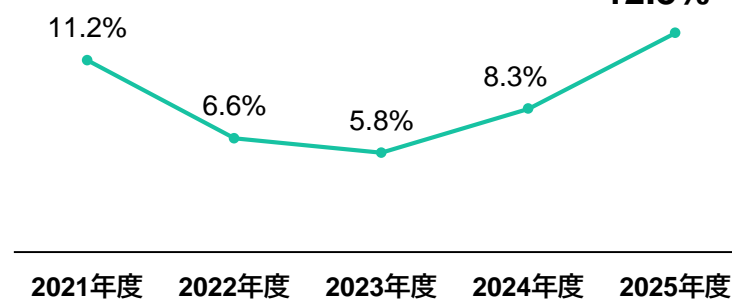
## 売上高推移



## 営業利益推移



## 営業利益率推移



## コンクリートプラント(CP)

増収(売上高前期比+25.1%)

- 旺盛なプラント建替え需要、及び前期からの期ずれ物件売上により増収
- メンテナンス需要も好調に推移

## 荷役機械(EG)

増収(売上高前期比+11.3%)

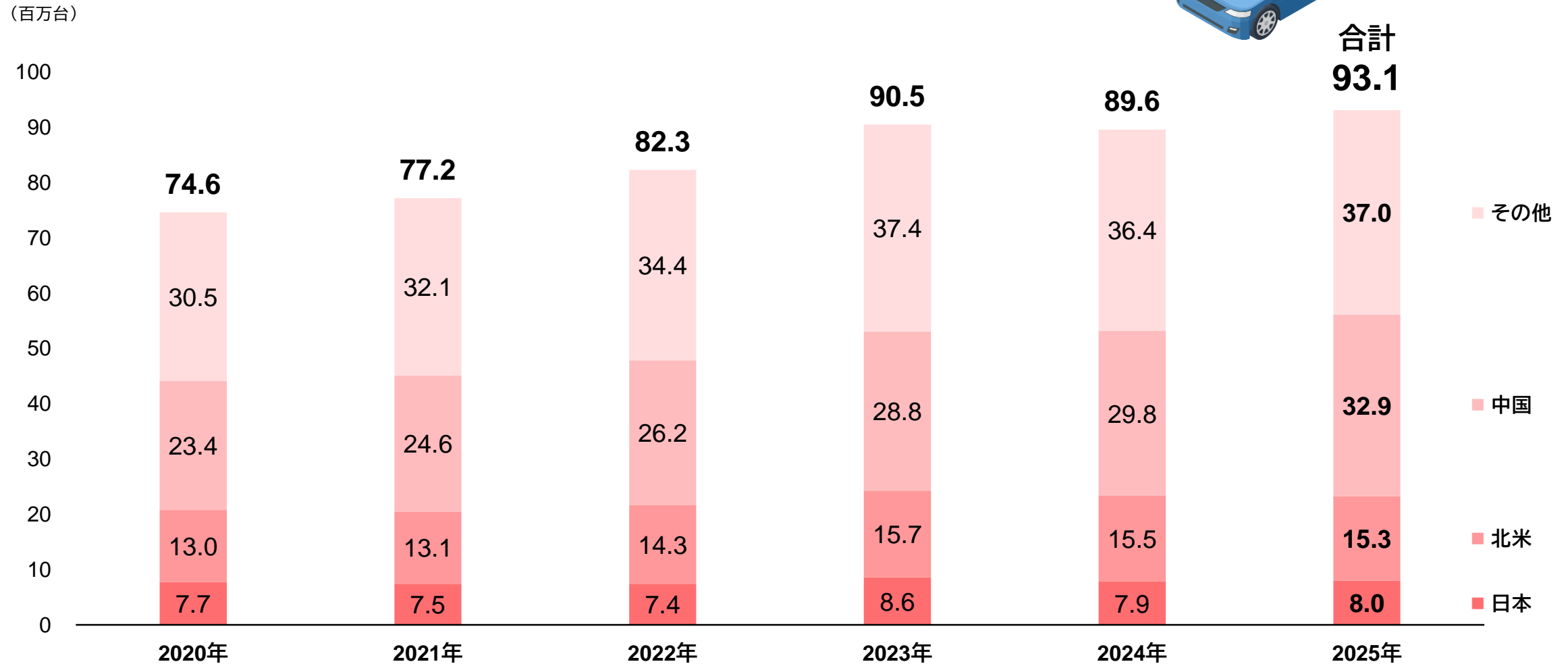
- 期末に掛けてクレーンの受注が好調に推移し増収

## 立体駐車場

減収(売上高前期比△4.7%)

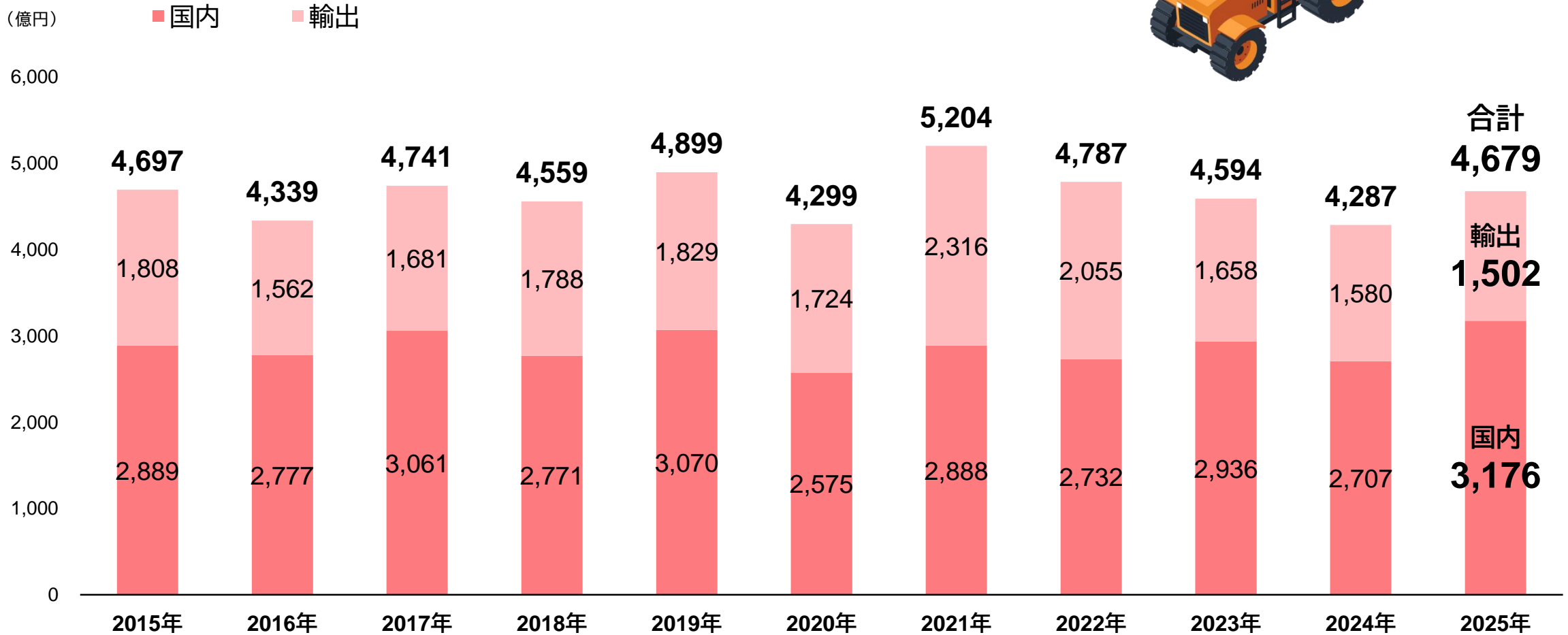
- 材料費・人件費の高止まりによる計画見直しや延期の増加により減収

## 自動車生産台数推移



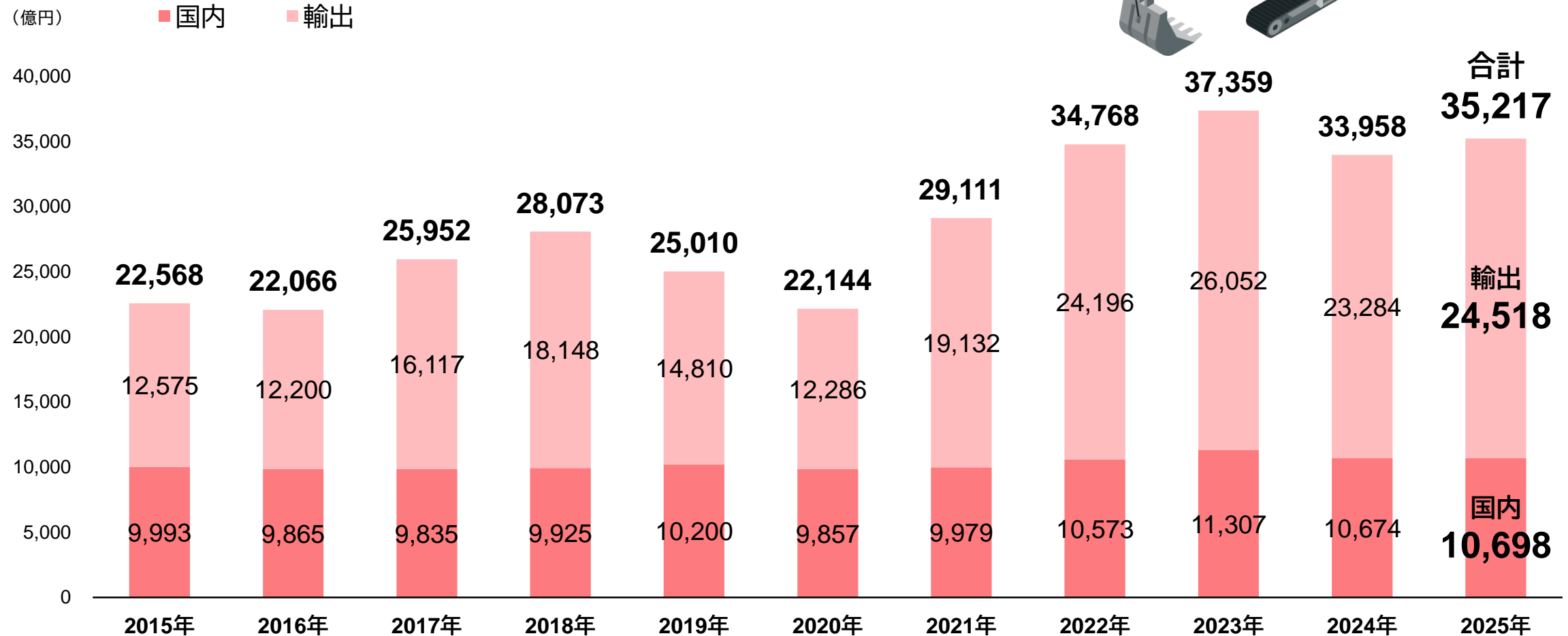
資料： S&P Global Mobility より

## 農業機械出荷実績推移



資料：一般社団法人 日本農業機械工業会 より

## 建設機械出荷実績推移



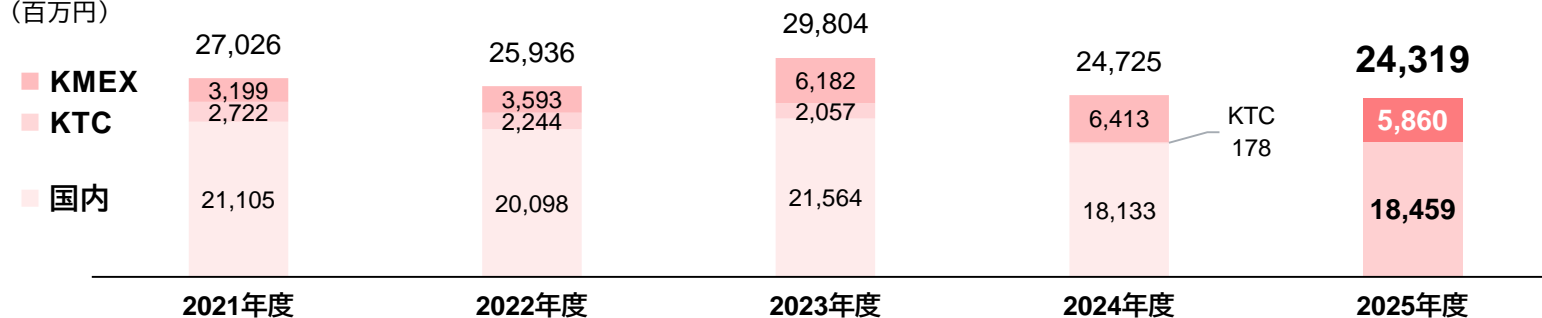
資料：一般社団法人日本建設機械工業会 より

(百万円)

	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	24,725	<b>24,319</b>	△406	△1.6%
営業利益	△128	<b>606</b>	734	—
利益率(%)	△0.5	<b>2.5</b>	3.0pt	—

## 売上高推移

(百万円)



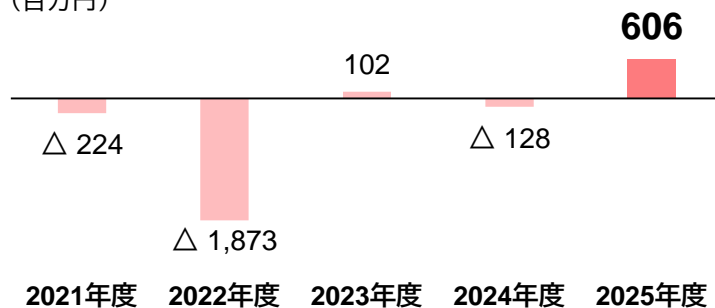
### 日本国内

**増収(売上高前期比+1.8%)**

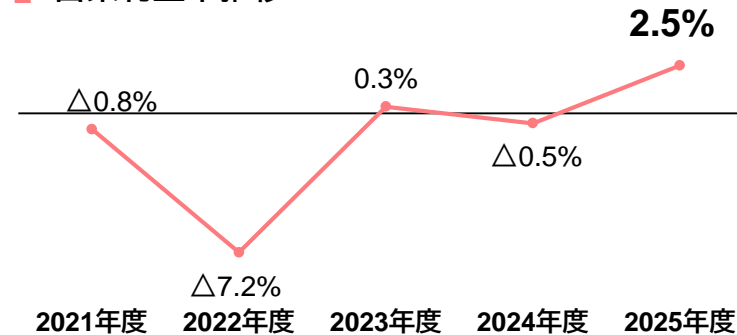
- 販売価格改定、下期における農業機械部品の受注増により増収

## 営業利益推移

(百万円)



## 営業利益率推移



### 海外(メキシコ)

**減収(売上高前期比△8.6%)**

- 受注品目の量産終了や半導体不足の影響により減収

## KMEX:メキシコ子会社

(百万円)

	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	6,413	<b>5,860</b>	△553	△8.6%
営業利益	△ 566	<b>△358</b>	208	—
当期純利益	△ 794	<b>△605</b>	189	—

- 受注品目の量産終了や半導体不足の影響により減収
- コストダウン施策や人員数の最適化により収益改善

## KTC:タイ子会社※

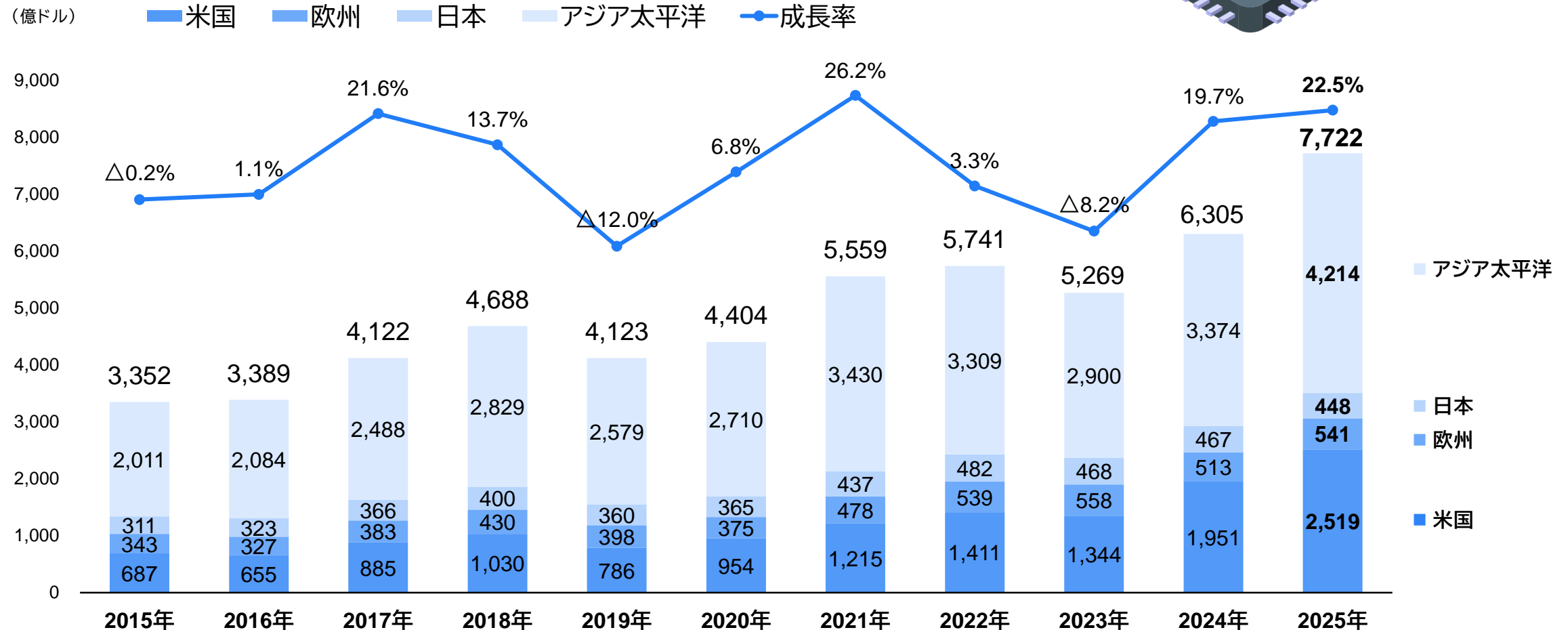
(百万円)

	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	178	—	△178	—
営業利益	△174	<b>△38</b>	136	—
当期純利益	△38	<b>1,298</b>	1,336	—

- 2025年3月に会社解散登記完了
- 土地建物を含む固定資産売却益を計上

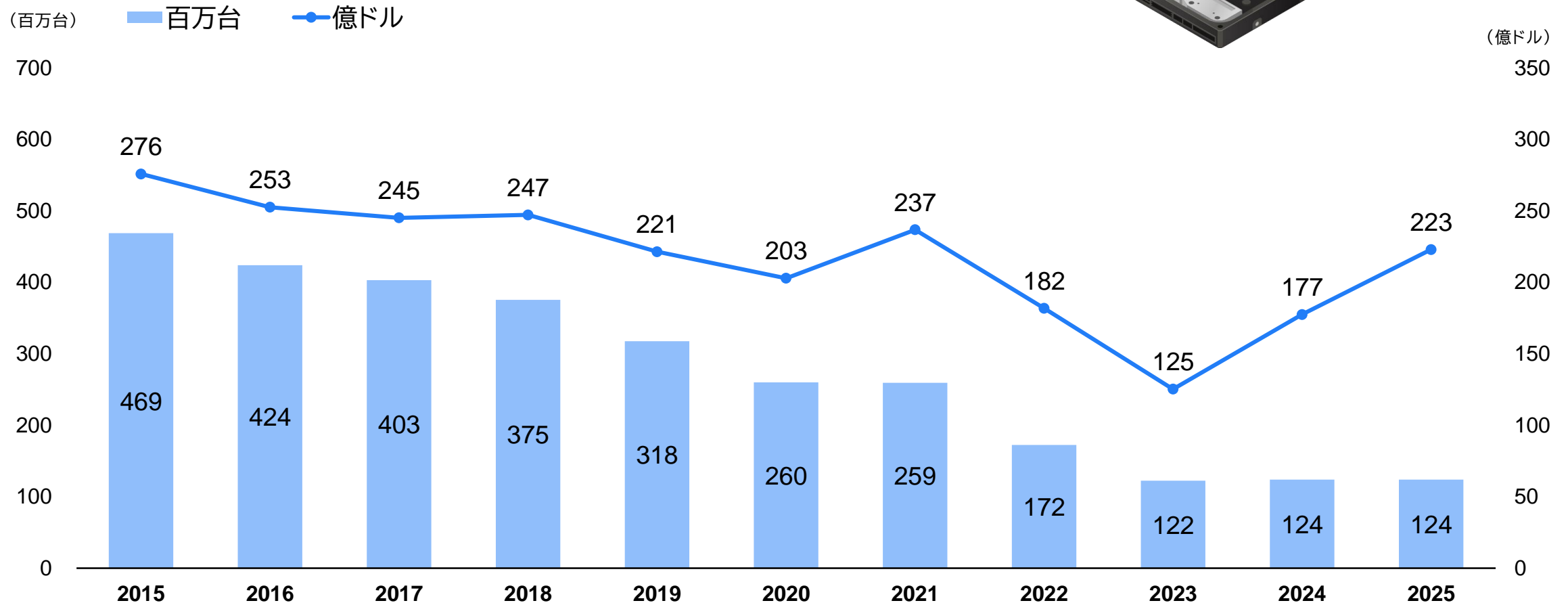
※ 2023年12月をもって操業停止

## 世界半導体市場規模



資料：WSTS(世界半導体市場統計) より引用

## ■ 世界HDD市場規模(出荷台数、出荷額)



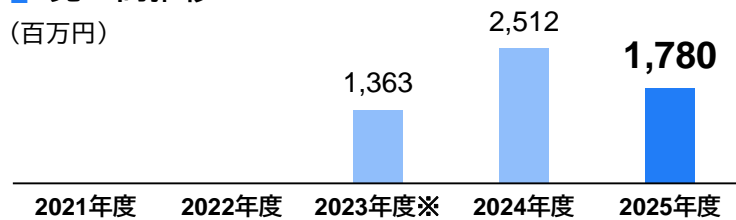
資料：テクノ・システム・リサーチ より引用

## 半導体関連事業

	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	2,512	1,780	△732	△29.1%
営業利益	586	138	△448	△76.3%
利益率(%)	23.3	7.8	△15.5pt	—

### 売上高推移

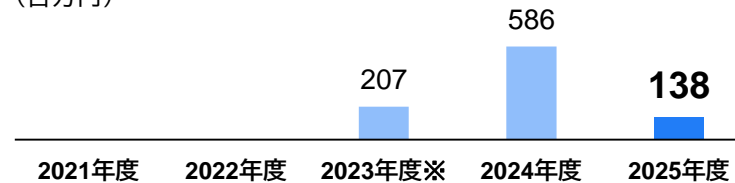
(百万円)



※下期6ヶ月分

### 営業利益推移

(百万円)



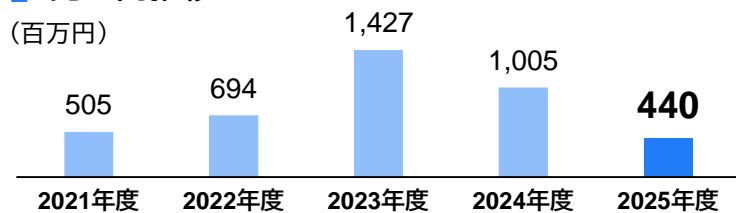
※下期6ヶ月分

## その他事業

	2024年度	2025年度	前期比	増減率
売上高	1,005	440	△565	△56.2%
営業利益	0	△42	△42	—
利益率(%)	0.0	△9.7	△9.7pt	—

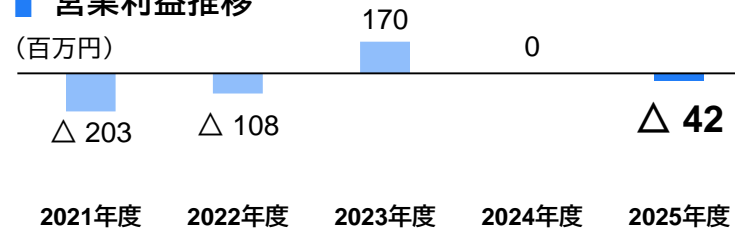
### 売上高推移

(百万円)



### 営業利益推移

(百万円)



## 半導体関連事業

減収 (売上高前期比△29.1%)

- ハードディスク関連の大型案件が完了したことにより減収

## その他事業

減収 (売上高前期比△56.2%)

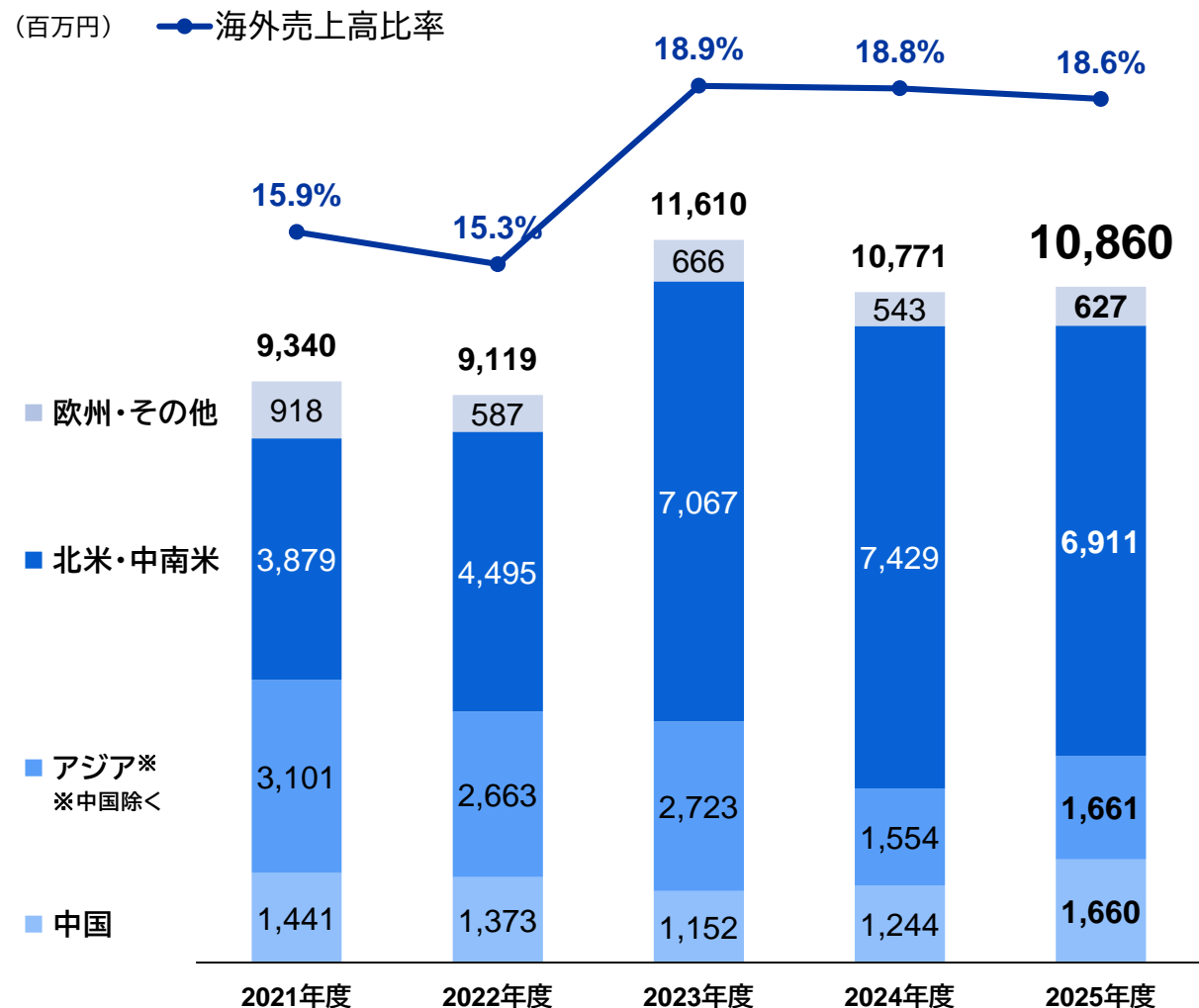
- 特殊工作機械の大型案件の納期期ずれにより減収

# 特別利益及び特別損失

(百万円)

	2024年度	2025年度	前期比
<b>特別利益</b>	286	<b>2,450</b>	2,164
固定資産売却益	151	<b>2,369</b>	2,218
その他	135	<b>80</b>	△55
<b>特別損失</b>	271	<b>790</b>	519
固定資産売却損	168	<b>273</b>	105
固定資産除却損	40	<b>342</b>	302
その他	62	<b>174</b>	112
<b>特別損益 合計</b>	15	<b>1,660</b>	1,645

# 連結海外売上高の推移



欧州・  
その他

**増収(売上高前期比 +15.5%)**

- 下期に欧州向けの受注が回復し増収

北米・  
中南米

**減収(売上高前期比 △7.0%)**

- 受注品目の量産終了や半導体不足の影響によりKMEXが減収

アジア※  
※中国除く

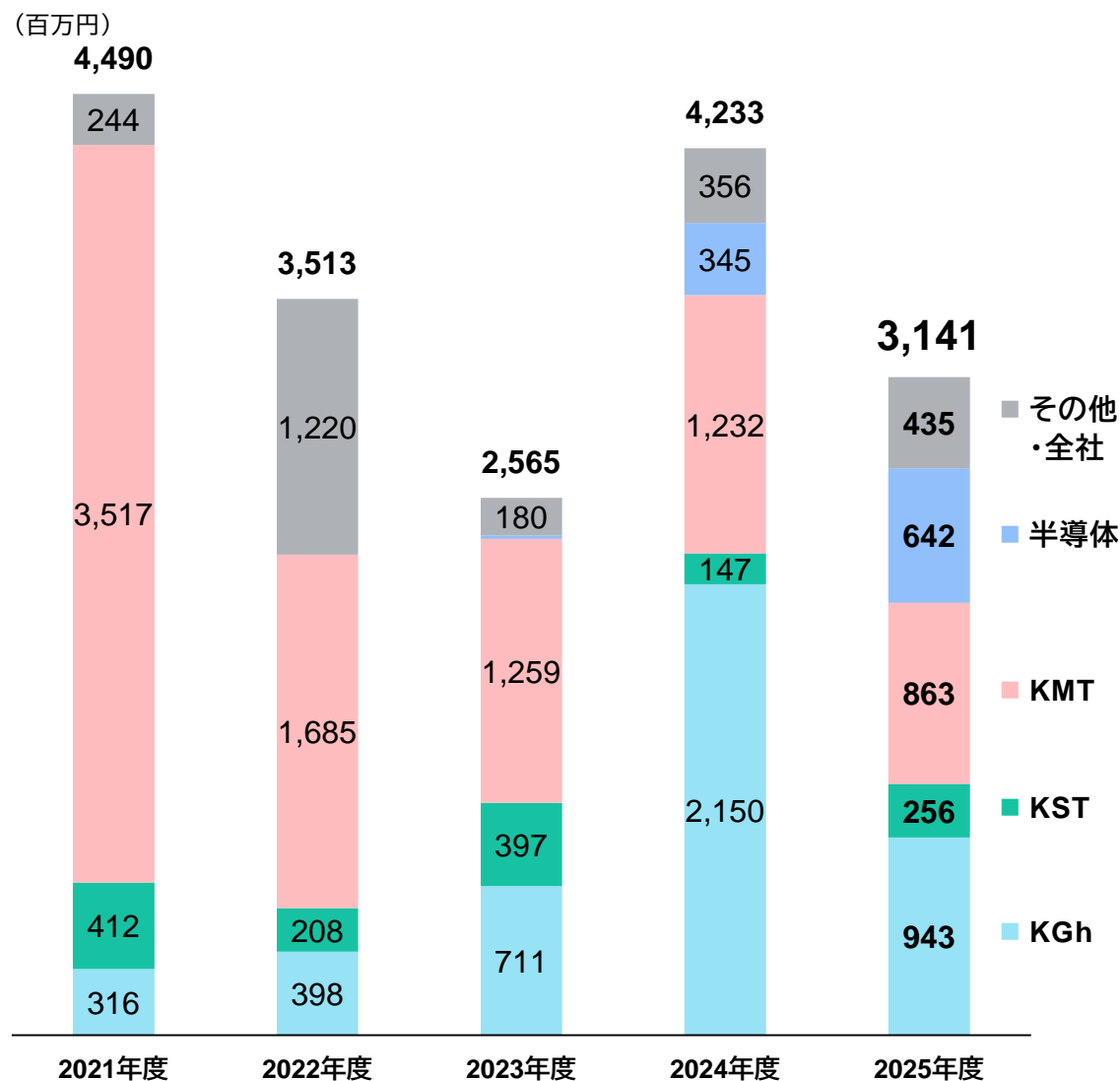
**増収(売上高前期比 +6.9%)**

- KGhのインド向け案件の増加により増収

中国

**増収(売上高前期比 +33.4%)**

- KGhの円テーブル受注増により増収



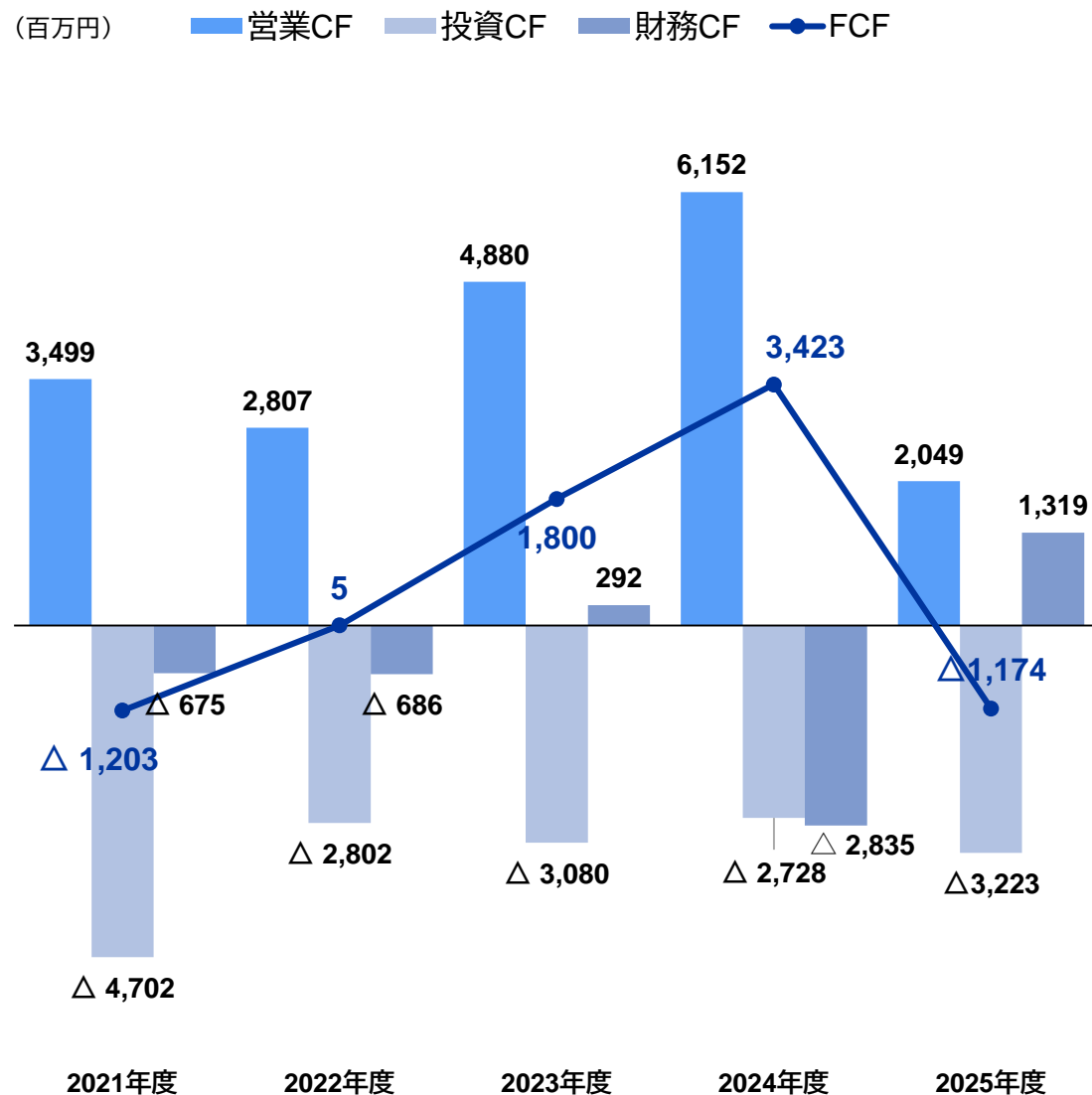
成長・改善投資**22億円**など  
年間**31億円**の投資を実施

### 主要成長投資

- 本社再構築関連 **5.9億円**(KGh:4.2億円、全社:1.7億円)
- 半導体関連事業の研究開発・試作 **6.4億円**(工場、設備等)
- KGh省人化・生産性向上 **1.5億円**
- 全社DX関連 **1億円**

	2024年度	2025年度	前期比
KGhカンパニー	2,150	<b>943</b>	△1,207
KSTカンパニー	147	<b>256</b>	109
KMTカンパニー	1,232	<b>863</b>	△369
半導体関連事業	345	<b>642</b>	297
その他・全社	356	<b>435</b>	79
設備投資合計	4,233	<b>3,141</b>	△1,092

# 連結キャッシュフロー概要

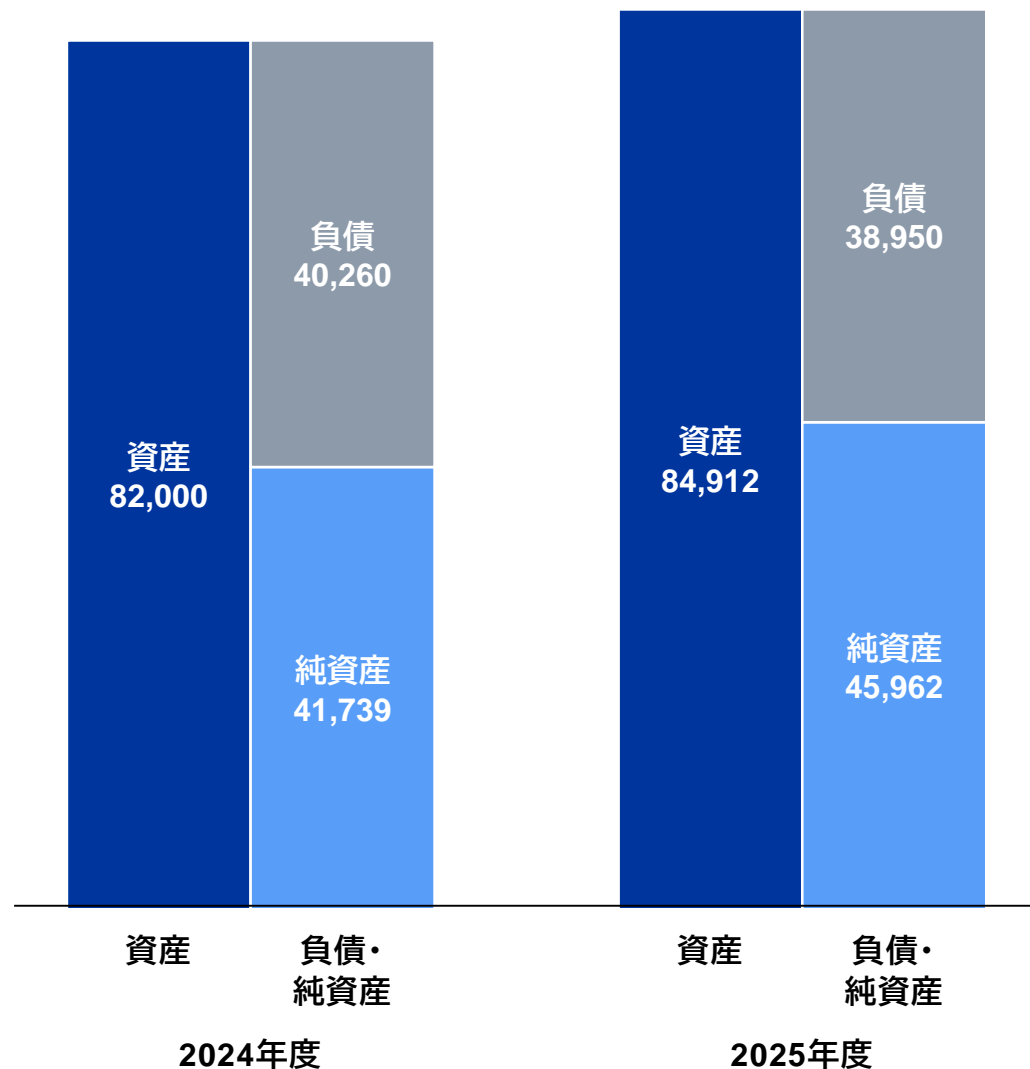


(百万円)

	2024年度	2025年度	前期比
営業C/F	6,152	<b>2,049</b>	△4,103
内:税前利益	2,330	<b>4,204</b>	1,874
内:減価償却費	3,108	<b>3,166</b>	58
内:有形固定資産売却損益	17	<b>△2,096</b>	△2,113
内:運転資金増減	998	<b>△2,299</b>	△3,297
投資C/F	△2,728	<b>△3,223</b>	△495
内:設備取得支出	△3,329	<b>△3,588</b>	△259
フリーC/F	3,423	<b>△1,174</b>	△4,597
財務C/F	△2,835	<b>1,319</b>	4,154
換算差額	253	<b>73</b>	△180
現金同等物の期末残高	11,208	<b>11,427</b>	219

# 連結貸借対照表概要

(百万円)



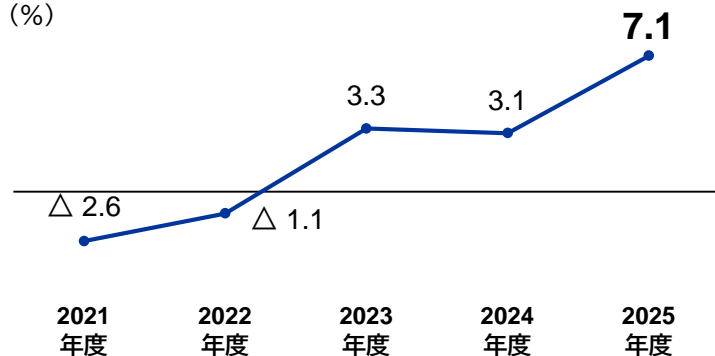
(百万円)

	2024年度	2025年度	前期比
資産の部	82,000	<b>84,912</b>	2,912
内:現金預金	11,503	<b>11,965</b>	462
内:売上債権	15,084	<b>14,820</b>	△264
内:棚卸資産	13,750	<b>14,271</b>	521
内:有形・無形 固定資産	28,234	<b>26,319</b>	△1,915
内:投資その他の資産	12,265	<b>16,478</b>	4,213
負債の部	40,260	<b>38,950</b>	△1,310
内:仕入債務	9,299	<b>7,240</b>	△2,059
内:有利子負債	14,046	<b>16,391</b>	2,345
純資産の部	41,739	<b>45,962</b>	4,223
内:自己資本	41,734	<b>45,957</b>	4,223
負債・純資産合計	82,000	<b>84,912</b>	2,912
自己資本比率	50.9%	<b>54.1%</b>	3.2pt

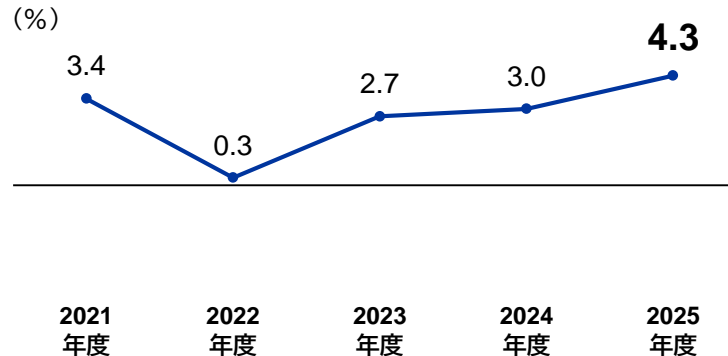
(百万円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	前期比
ROE(自己資本利益率)	△2.6	△1.1	3.3	3.1	7.1	+4.0pt
ROIC(投下資本利益率)	3.4	0.3	2.7	3.0	4.3	+1.3pt
Cap比率(キャピタリゼーション比率)	26.9	27.3	28.9	25.2	26.3	+1.1pt
EBITDA(償却前営業利益)	5,950	3,415	5,176	4,981	5,854	873

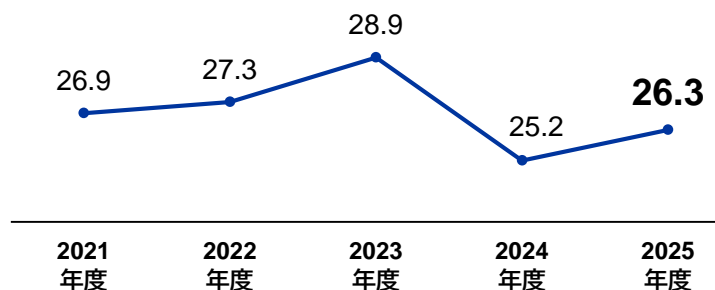
■ ROE (%)



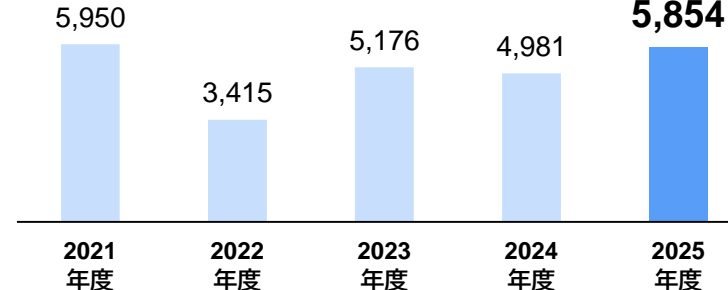
■ ROIC (%)



■ Cap比率 (%)



■ EBITDA (百万円)



- ROE**  
 収益改善、固定資産売却などにより当期純利益31億円を計上し、前期比+4.0pt改善の7.1%
- ROIC**  
 税引後営業利益の増加により前期比+1.3ptの4.3%
- Cap比率**  
 借入金の増加により前期比+1.1ptの26.3%
- EBITDA**  
 営業利益の増加により前期比+8.7億円の58億円

03

# 2026年度 事業計画

- 売上高は、メキシコ子会社、その他事業(特殊工作機械)、半導体関連事業の売上高増加を主因に前期比**40億円増の625億円**を見込む
- 営業利益は、産業機械事業で減益となるも、メキシコ子会社の収益改善を主因に前期比**3億円増の30億円**を見込む
- 親会社株主に帰属する**当期純利益**は、前期計上した固定資産売却益の影響剥落を主因に**20億円**を見込む
- ホルムズ海峡の封鎖に伴う原油の供給不足について、その影響を合理的に算定することは困難であることから、業績予想には織り込まず、今後業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示

(百万円)

	2025年度 実績	2026年度 計画	前期比	増減率
売上高	58,415	<b>62,500</b>	4,085	7.0%
営業利益	2,688	<b>3,000</b>	312	11.6%
営業利益率(%)	4.6	<b>4.8</b>	0.2pt	—
経常利益	2,545	<b>3,000</b>	455	17.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,128	<b>2,000</b>	△1,128	△36.1%

# セグメント別事業計画

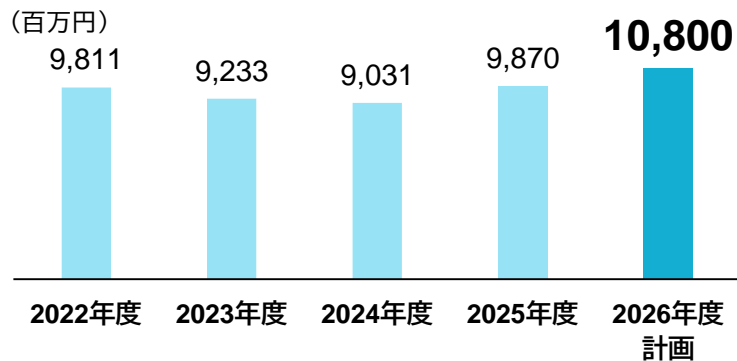
(百万円)

セグメント		2025年度 実績	2026年度 計画	前期比	増減率
工作機器事業 (KGh)	売上高	9,870	<b>10,800</b>	930	9.4%
	営業利益	221	<b>540</b>	319	144.1%
産業機械事業 (KST)	売上高	22,003	<b>21,800</b>	△203	△0.9%
	営業利益	2,806	<b>1,970</b>	△836	△29.8%
金属素形材事業 (KMT)	売上高	24,319	<b>25,800</b>	1,481	6.1%
	営業利益	606	<b>1,100</b>	494	81.3%
半導体関連事業 (KGT)	売上高	1,780	<b>2,600</b>	820	46.0%
	営業利益	138	<b>300</b>	162	116.3%
その他事業	売上高	440	<b>1,500</b>	1,060	240.7%
	営業利益	△42	<b>220</b>	262	—
共通費用	営業利益	△1,041	<b>△1,130</b>	△89	—
合計	売上高	58,415	<b>62,500</b>	4,085	7.0%
	営業利益	2,688	<b>3,000</b>	312	11.6%

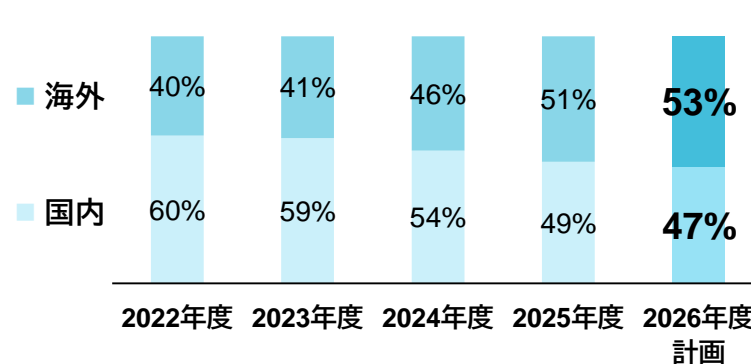
(百万円)

	2025年度	2026年度計画	前期比	増減率
売上高	9,870	<b>10,800</b>	930	9.4%
営業利益	221	<b>540</b>	319	144.1%
利益率(%)	2.2	<b>5.0</b>	2.8pt	—

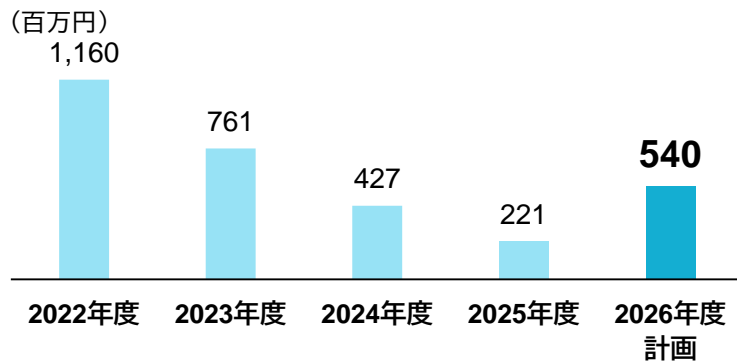
## ■ 売上高推移



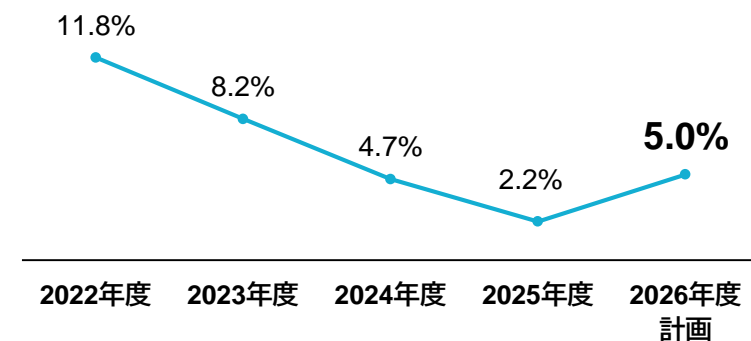
## ■ 国内・海外売上比率推移



## ■ 営業利益推移



## ■ 営業利益率推移



### 日本国内

増収(売上高前期比+4.4%)

- ソリューション提案やロボット台車販売、サービスの強化により増収の見込み

### 海外

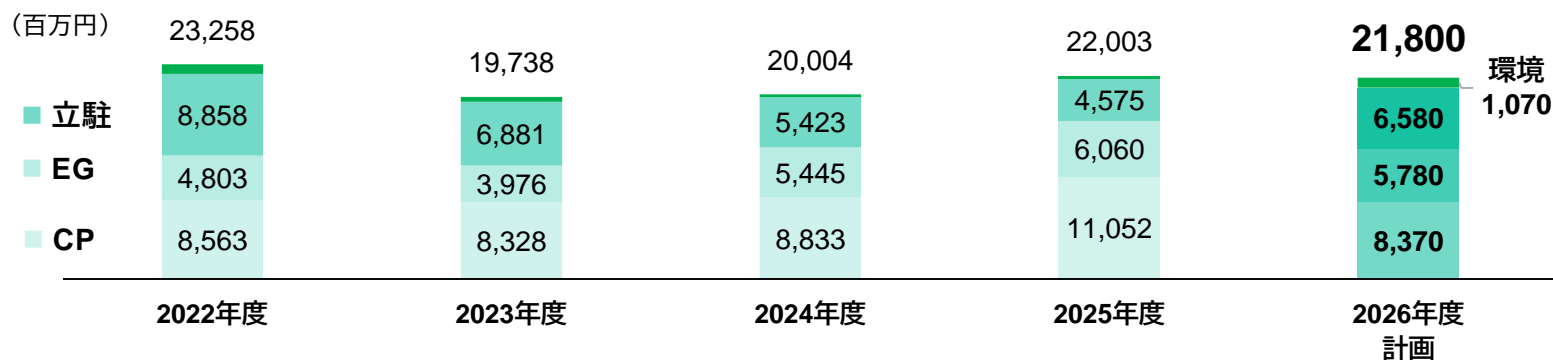
増収(売上高前期比+14.3%)

- インドでの生産拡充や北中米向け大型チャック受注増、欧州などの販売促進により増収の見込み

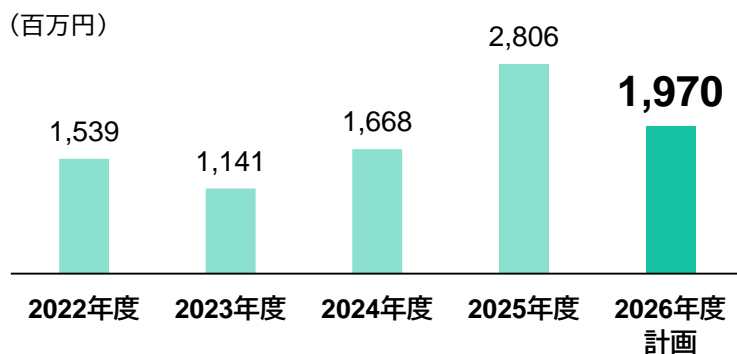
(百万円)

	2025年度	2026年度計画	前期比	増減率
売上高	22,003	<b>21,800</b>	△203	△0.9%
営業利益	2,806	<b>1,970</b>	△836	△29.8%
利益率(%)	12.8	<b>9.0</b>	△3.8pt	—

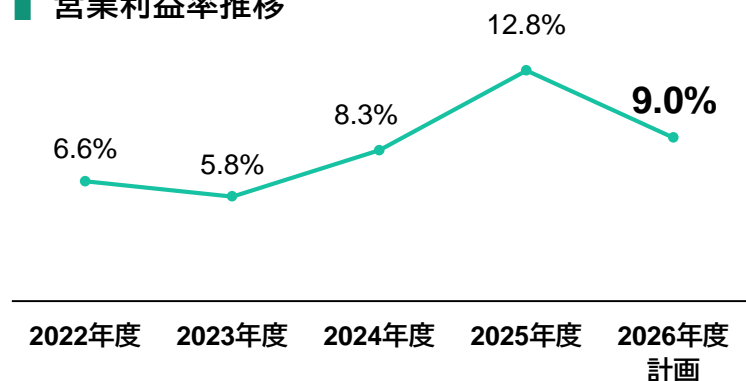
## 売上高推移



## 営業利益推移



## 営業利益率推移



### コンクリートプラント(CP)

減収(売上高前期比△24.3%)

- 前期計上となった期ずれ売上の反動により減収の見込み

### 荷役機械(EG)

減収(売上高前期比△4.6%)

- ビル建設用クレーンが堅調に推移するものの、その他荷役機械の売上が減少し減収の見込み

### 立体駐車場

増収(売上高前期比+43.8%)

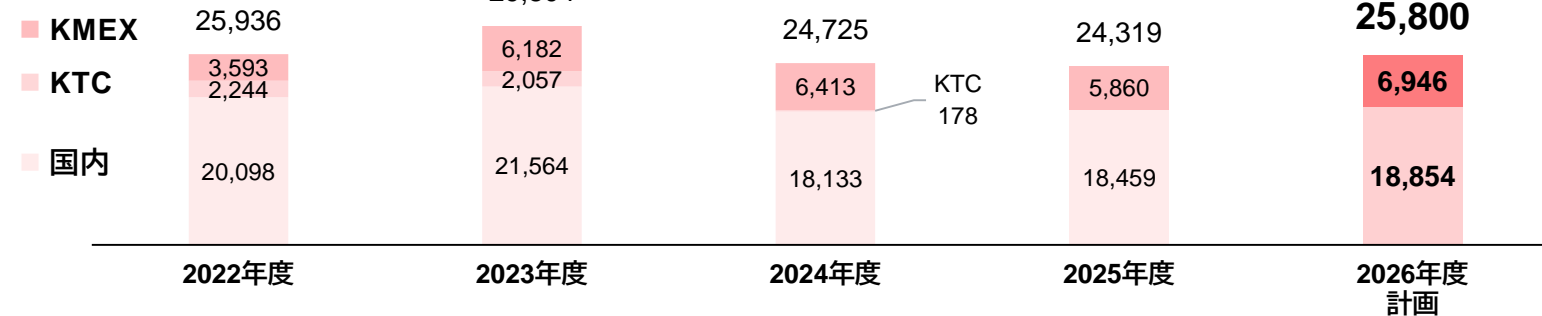
- リピート顧客からの受注、及び大型案件の売上により増収の見込み

(百万円)

	2025年度	2026年度計画	前期比	増減率
売上高	24,319	<b>25,800</b>	1,481	6.1%
営業利益	606	<b>1,100</b>	494	81.3%
利益率(%)	2.5	<b>4.3</b>	1.8pt	—

## 売上高推移

(百万円)



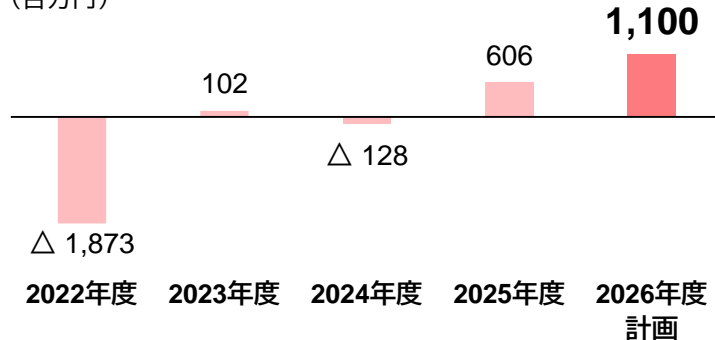
### 日本国内

**増収(売上高前期比+2.1%)**

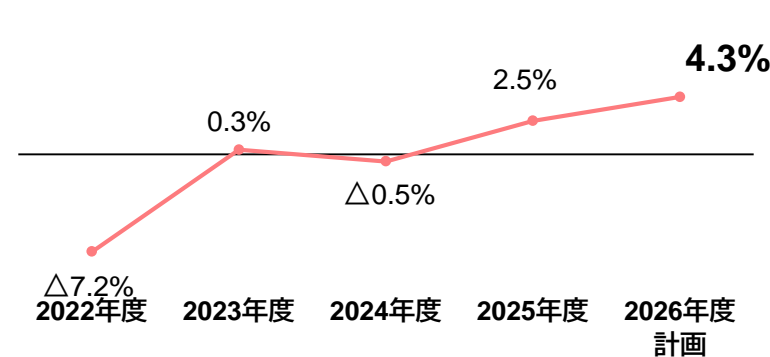
- 新規受注品の量産開始、小型建機の需要回復により増収の見込み

## 営業利益推移

(百万円)



## 営業利益率推移



### 海外(メキシコ)

**増収(売上高前期比+18.5%)**

- 新規受注品の量産開始により増収の見込み

## KMEX:メキシコ子会社

(百万円)

	2025年度	2026年度計画	前期比	増減率
売上高	5,860	<b>6,945</b>	1,085	18.5%
営業利益	△358	<b>165</b>	523	—
当期純利益	△605	<b>△87</b>	518	—

- 新規受注品の量産開始により増収の見込み
- コストダウン施策や人員数の最適化により営業利益黒字転換の見込み

## KTC:タイ子会社※

(百万円)

	2025年度	2026年度計画	前期比	増減率
売上高	—	—	—	—
営業利益	△38	<b>△2</b>	36	—
当期純利益	1,298	<b>△2</b>	△1,300	—

- 2025年に会社解散登記、資産売却は完了
- 清算完了に向けて手続き中

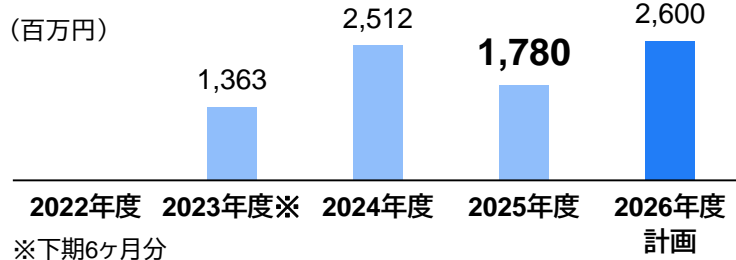
※ 2023年12月をもって操業停止

## 半導体関連事業

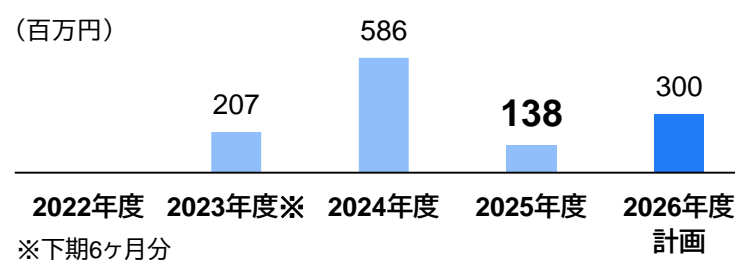
	2025年度	2026年度計画	前期比	増減率
売上高	1,780	2,600	820	46.0%
営業利益	138	300	162	116.3%
利益率(%)	7.8	11.5	3.7pt	—

(百万円)

### 売上高推移



### 営業利益推移

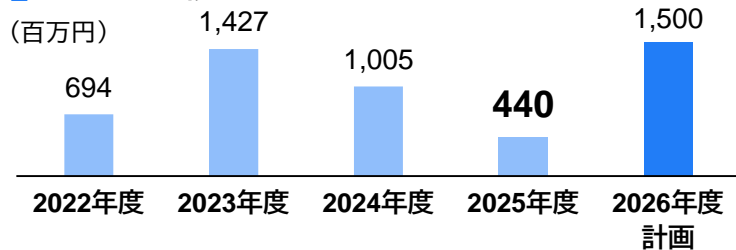


## その他事業

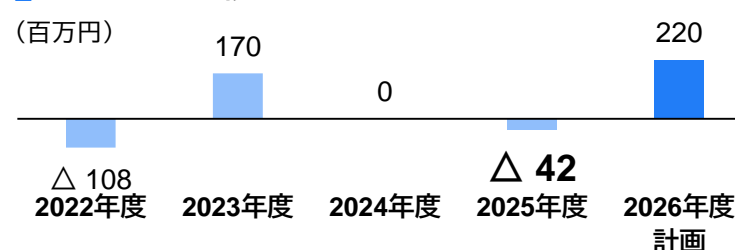
	2025年度	2026年度計画	前期比	増減率
売上高	440	1,500	1,060	240.7%
営業利益	△42	220	262	—
利益率(%)	△9.5	14.7	24.2pt	—

(百万円)

### 売上高推移



### 営業利益推移



## 半導体関連事業

増収(売上高前期比+46.0%)

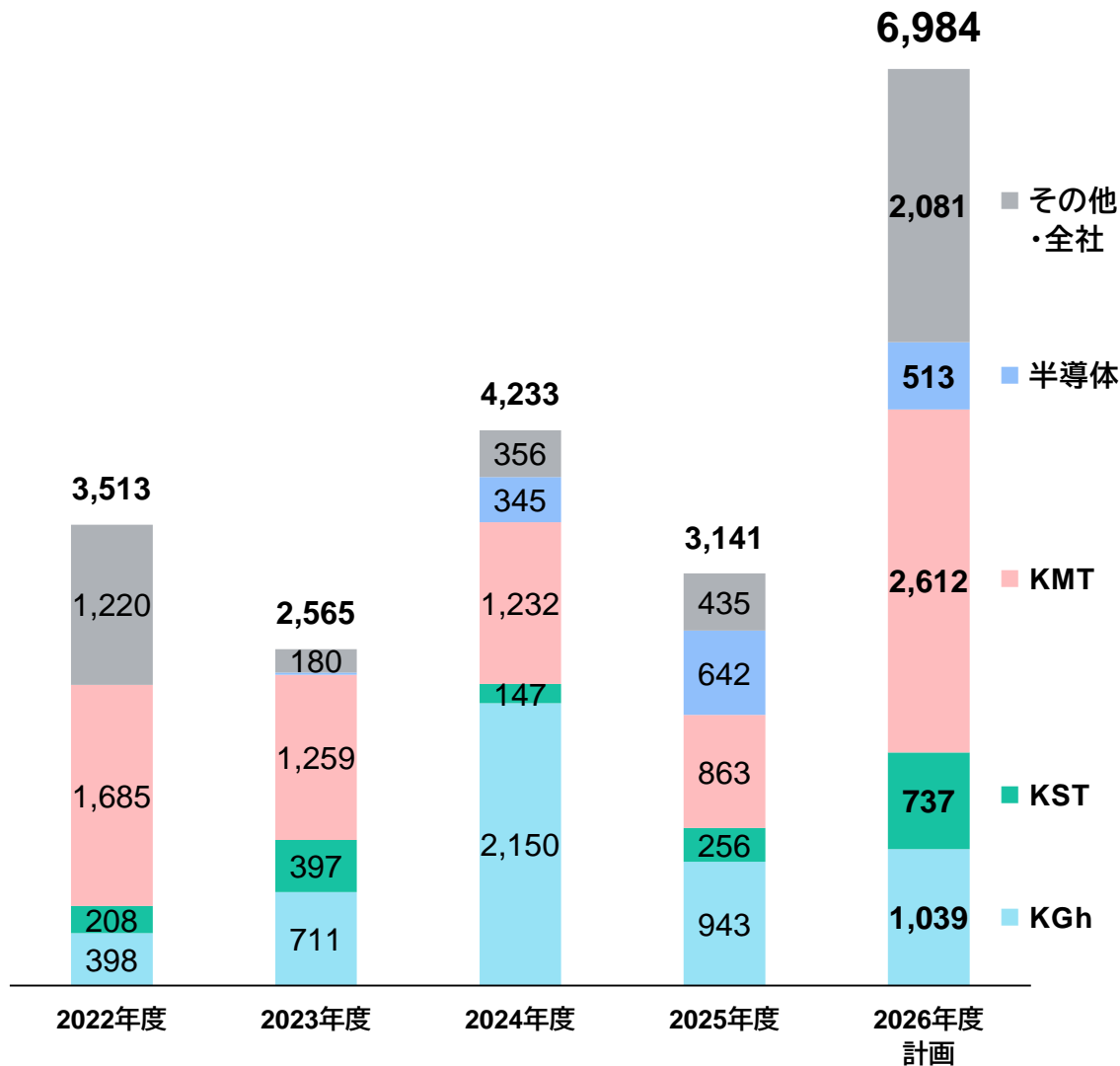
- AIサーバ関連、及びデータセンター関連の受注増により増収の見込み

## その他事業

増収(売上高前期比+240.7%)

- 特殊工作機械の大型案件の納入により増収の見込み

(百万円)



成長・改善投資**53億円**など  
年間**69億円**を見込む

### 主要成長投資

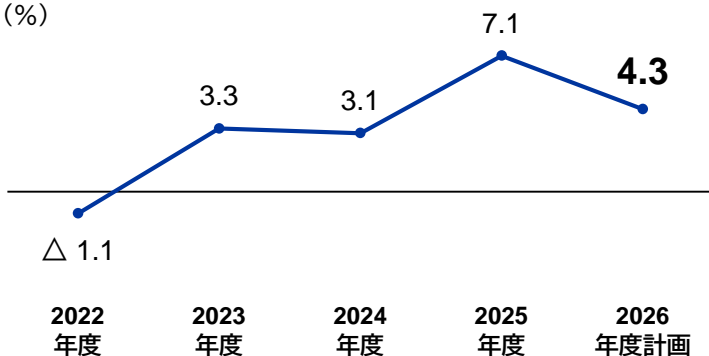
- 本社再構築関連 **15億円**
- 半導体関連事業の研究開発・試作 **4.2億円**
- メキシコ工場新規受注にかかる設備投資 **3.3億円**
- KGhの工程自動化・生産性向上 **3.4億円**
- 全社DX関連 **1.3億円**

	2025年度実績	2026年度計画	前期比
KGhカンパニー	943	<b>1,039</b>	96
KSTカンパニー	256	<b>737</b>	481
KMTカンパニー	863	<b>2,612</b>	1,749
半導体関連事業	642	<b>513</b>	△129
その他・全社	435	<b>2,081</b>	1,646
設備投資合計	3,141	<b>6,984</b>	3,843

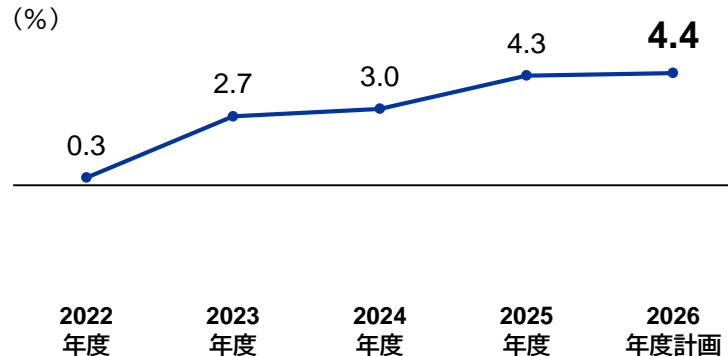
(百万円)

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度計画	前期比
ROE(自己資本利益率)	△1.1	3.3	3.1	7.1	4.3	△2.8pt
ROIC(投下資本利益率)	0.3	2.7	3.0	4.3	4.4	+0.1pt
Cap比率(キャピタリゼーション比率)	27.3	28.9	25.2	26.3	24.1	△2.2pt
EBITDA(償却前営業利益)	3,415	5,176	4,981	5,854	6,686	832

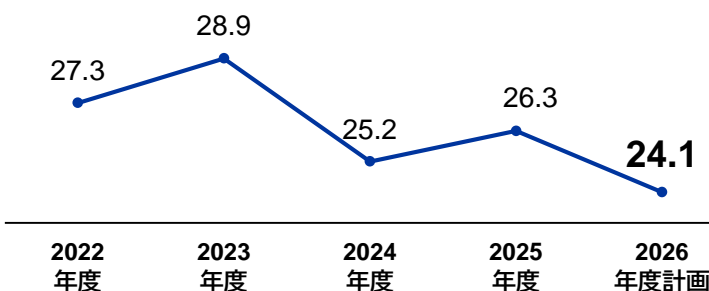
■ ROE (%)



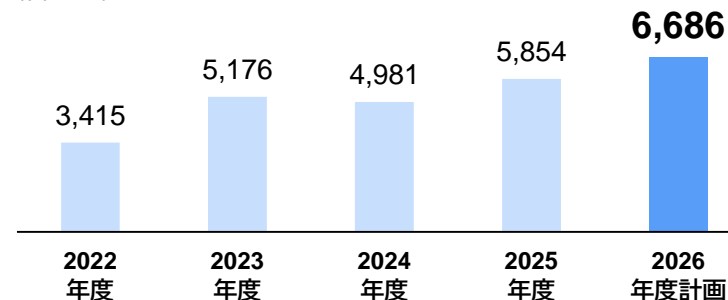
■ ROIC (%)



■ Cap比率 (%)



■ EBITDA (百万円)



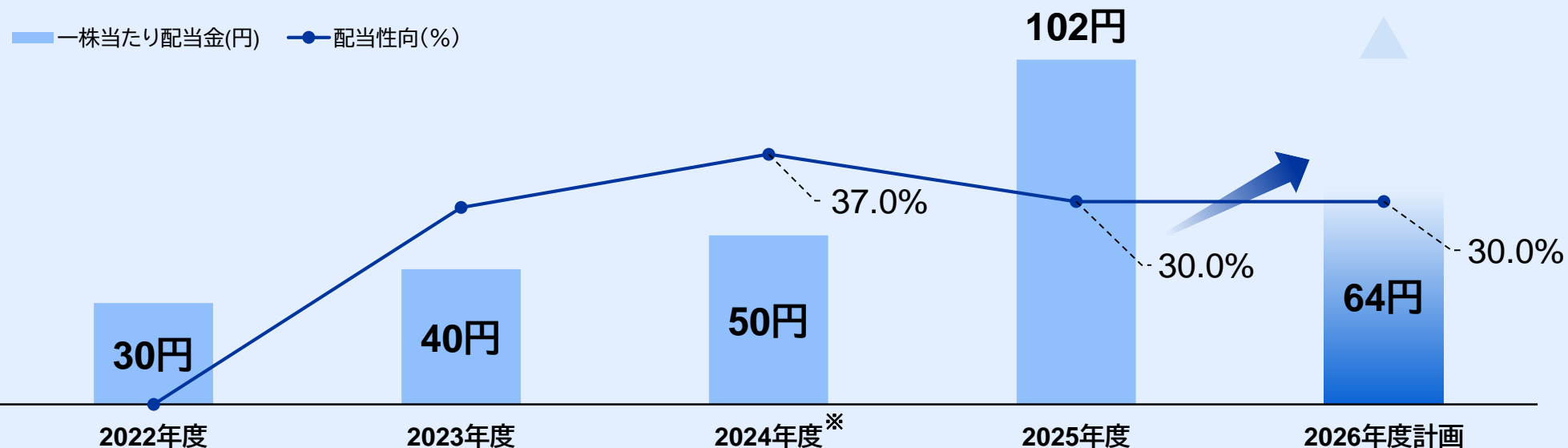
- **ROE**  
固定資産売却益の影響剥落により、前期比△2.8ptの4.3%を見込む
- **ROIC**  
前期並の4.4%を見込む
- **Cap比率**  
借入金の返済により前期比△2.2ptの24.1%を見込む
- **EBITDA**  
営業利益、償却費の増加により前期比+8億円の66億円を見込む

株主の皆様への更なる利益還元の姿勢を明確化するため、配当方針の変更を実施(2025年4月18日プレスリリース)

- **2026年度配当** 中間配当32円と合わせ、一株当たり年間**64円**を予定

親会社株主に帰属する当期純利益		株主還元方針
50億円超	—	連結配当性向 <b>40%</b> を目標として還元
35億円超	50億円以下	連結配当性向 <b>35%</b> を目標として還元
15億円超	35億円以下	連結配当性向 <b>30%</b> を目標として還元 ( <b>50円</b> を下限として還元)
—	15億円以下	<b>50円</b> を下限として還元

利益に応じて  
**UP**



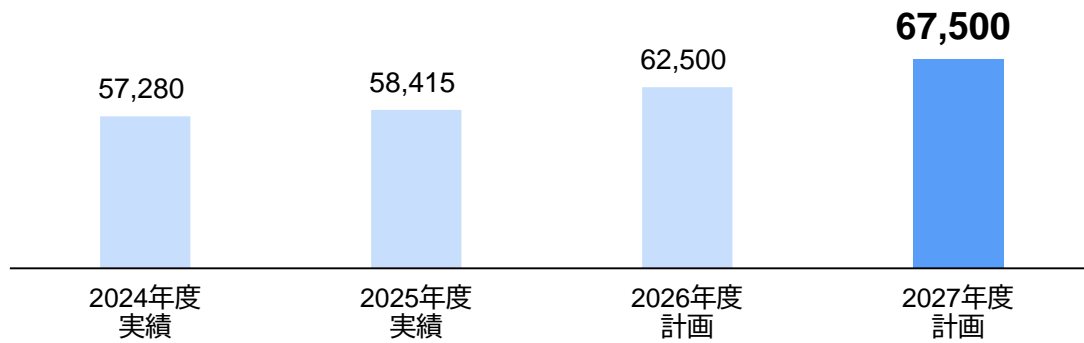
※配当方針の変更を前倒しで適用

	初年度振り返り (2025年度)	2年目に向けて (2026年度)
チャレンジする人財の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価・報酬制度見直しを開始</li> <li>社員の声を経営に生かすため年代別オフサイト、タウンホールミーティングを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社での改善活動推進と表彰制度の制定</li> <li>オフサイトの実施継続を含むコミュニケーション施策の強化</li> </ul>
低採算からの脱却	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>ビジネスプロセス再点検によるオペレーション再構築</u>を開始</li> <li>適正水準への<u>販売価格ベースアップ</u>交渉実施</li> <li>間接業務の抜本的見直しによる高付加価値業務へのシフト</li> <li>不良率、稼働率改善による競争力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレーム、不適合の撲滅に向けた品質管理体制の強化</li> <li>工事案件の原価管理強化に向けた新規ツール等の導入検討</li> <li>コストダウン、海外ルート検討を含む調達活動の見直し</li> <li>メンテナンス対応、パーツ販売強化</li> </ul>
新領域への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>インド工場</u>での生産を開始</li> <li><u>環境負荷低減・自動化・コスト削減等の解決に資する製品・技術</u>の開発</li> <li><u>半導体関連事業の研究開発施設</u>を新設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外拠点での生産拡充、アフターサービス強化</li> <li>半導体関連事業と他カンパニーとの協働開発推進</li> </ul>

- 2025年度の実績は、中期計画に対してKPIはやや下振れで進捗(参考:固定資産売却益除くROE:3.0%)
- 2027年度目標達成に向けて、収益性と資本効率の改善に注力する

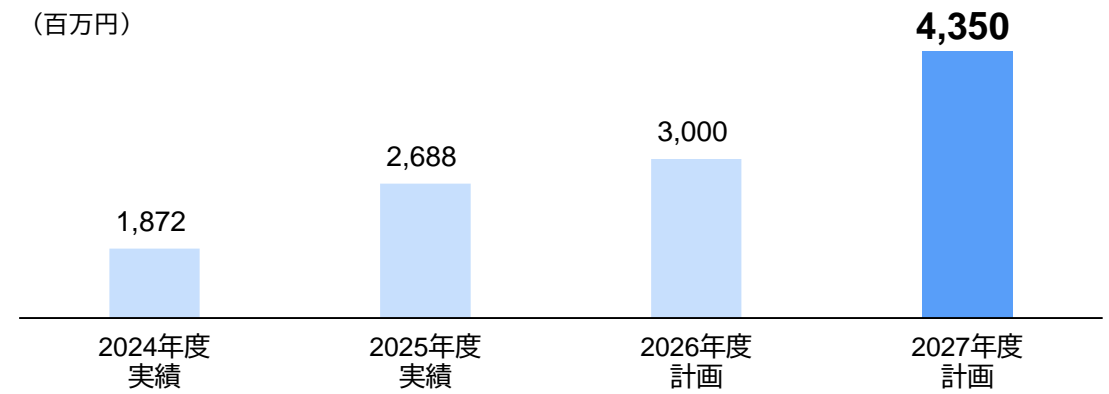
## 売上高

(百万円)



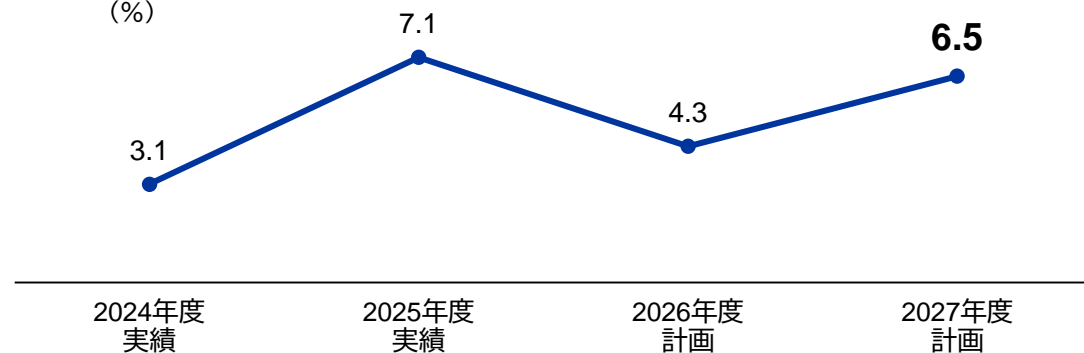
## 営業利益

(百万円)



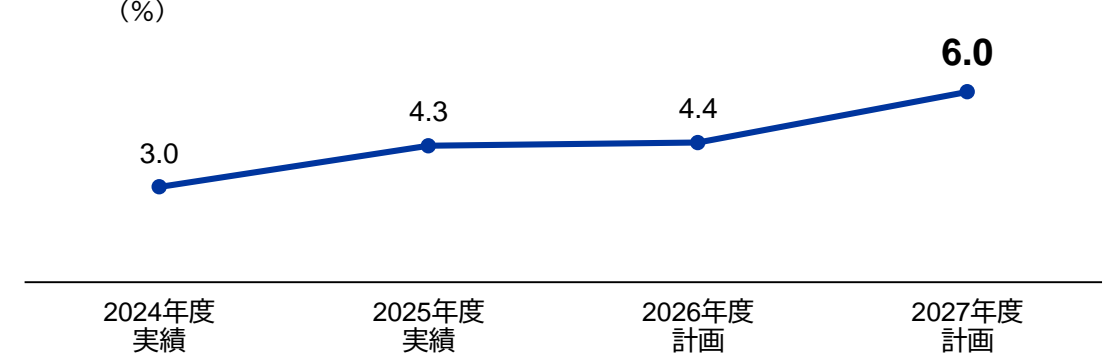
## ROE

(%)



## ROIC

(%)



04

## トピックス

## TOPICS 1

## 第10回 ものづくり日本大賞 中国経済産業局長賞受賞

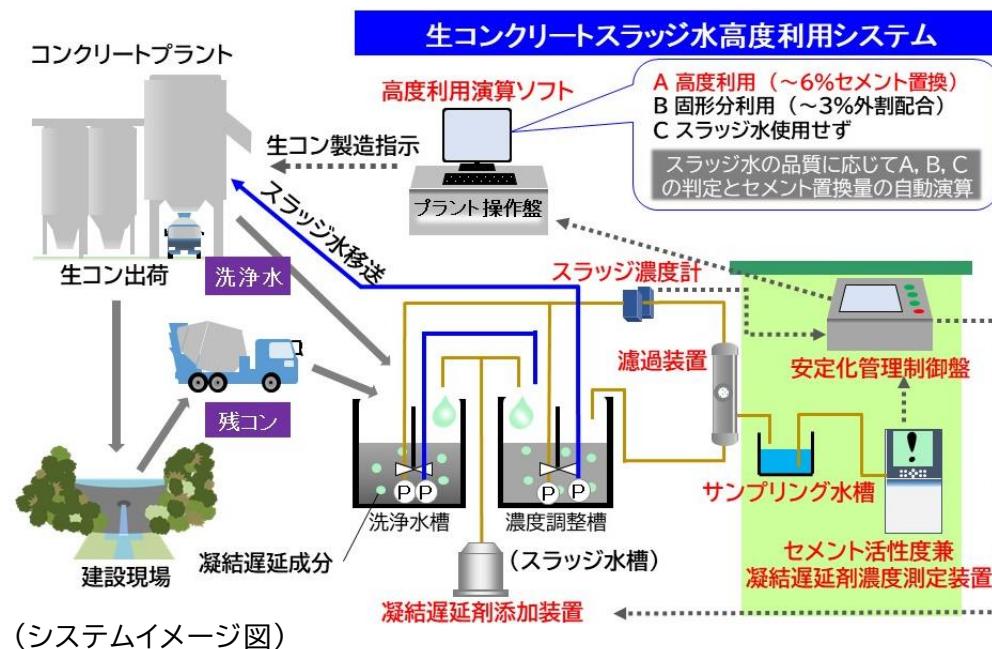


## 概要

当社が開発した「生コンクリートスラッジ水 高度利用システムの開発」が『第10回ものづくり日本大賞』製品・技術開発部門 中国経済産業局長賞を受賞

- 生コン工場で発生するスラッジ水<sup>\*</sup>の埋立処分問題を解決するため、本システムを開発  
セメントの硬化進行を数日間停止させ、翌日以降に再利用することに成功(業界初の技術であり、2024年3月改正のJIS規格にも反映)
- セメント製造におけるエネルギーの削減に寄与し、脱炭素社会の実現に直接的に貢献する技術であり、今後は日本発の技術として、海外の建設分野などへの展開も視野に入れる

※スラッジ水:セメントを主成分とした排水



## TOPICS 2

### 半導体事業の 研究開発拠点を新設



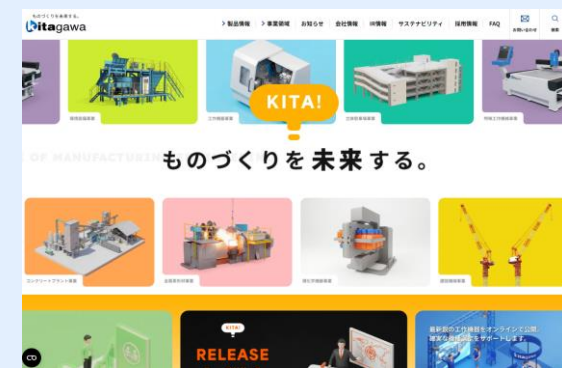
#### 概要

半導体事業の拡大を目指し、北川グレステック(株)の長岡研究所にクリーンルームを含む新たな研究開発拠点を開設

- 開発スピードの加速と技術深化を目指す
- 開発部門の人員を強化し、新製品の市場投入を加速
- 設備設置後2026年内の本格稼働を予定

## TOPICS 3

### コーポレートサイト リニューアル



#### 概要

当社の事業内容や技術、最新の取り組みをより直感的に伝えられるよう、デザインおよび構成を一新

- 機関・個人投資家に向けた情報の整理と充実化を図り、グラフを多用したデザインへの刷新、非財務情報の拡充を実施
- 当社の社会的責任を示すサステナビリティページの強化も実施
- 企業認知度向上、企業ブランド強化を目指す

## TOPICS 4

測長判定システム  
「MET」発売

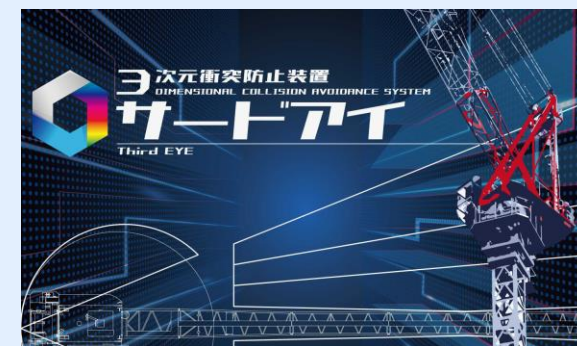
## 概要

ロボットハンドと組み合わせて寸法の良否やバラつきを判定  
工場の自動化を低コストで実現

特長

- 専門知識がなくても大丈夫
- いつものパソコンでラクラク設定
- データの傾向を“見える化”
- 最大5箇所の測長が可能
- 測定データをしっかり管理

## TOPICS 5

3次元衝突防止装置  
「サードアイ」開発

## 概要

最新LiDAR(ライダー)センサー※を搭載した建設クレーン  
用3次元衝突防止装置を開発

フィールドテスト完了後、2026年内販売開始予定

3つの衝突防止機能

- 1.吊荷の衝突防止
- 2.ジブ(アーム)の衝突防止
- 3.旋回体後方の衝突防止

※LiDARセンサー:レーザー光を照射し、反射して戻ってくるまでの時間や位相を計測して対象物までの距離や形状を正確に測定する技術

## kitagawaの魅力をより多くの方に知って頂けるよう、以下の施策を開始

TVCMや、SNS、デジタルサイネージ、リアル説明会開催など複数のメディアを通じて“kitagawaの魅力”を届けています。



### 個人投資家向けIR初開催

個人投資家のみなさまとの対話機会の拡充を目的に、当社としては初の個人投資家向けIRを実施致しました。当社の事業概要、直近の業績、成長戦略ならびに株主還元方針についてご説明し、質疑応答を通じて多くのご意見・ご質問をいただきました。



### 新TVCM放映

地元・広島での企業認知度及び事業理解度向上により、採用活動を力強く後押しするため、新CM動画を制作し、26年4月から放送開始致しました。



### 採用Instagram開始

採用活動強化を目的に、採用向けInstagramを開始致しました。当社の企業文化や仕事のリアル等を継続的に発信することで採用広報の強化を図っていきます。



### 広島駅新駅ビル広告

広島の陸の玄関口である、JR広島駅新駅ビル「minamoa(ミナモア)」に広告を掲出致しました。




## 本資料に関するご注意

- 本資料に記載する業績予想などの将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
- このため、様々な要因の変化により、実際の業績とは大きく異なる結果となることをご承知おきください。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず無断の複製・転載をお断りします。

### 問い合わせ先

総務部総務課 IR担当

 電話番号 0847(40)0501

 企業サイト <https://www.kiw.co.jp/>